

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名		事業概要		令和5年度の実績		自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1	生涯学 習に関 する情 報提供 の充実	1	多様な媒体 を活用した 情報の提供	より多くの市民に 情報を届けられ るよう、多様な 媒体を効率的に 活用し、市が開 催する講座等の 情報を発信しま す。	●広報春日井、民 間の生活情報誌な どの紙媒体を活用し た情報の提供	広報春日井	生涯学習に関する情報を 始め、市の魅力、市政情 報に関するきめ細かな情報 を発信するため、広報誌を 発行する。	発行回数：年12回 発 行 日：毎月1日を基準日に、前月末頃に発行 仕 様：A4 全面カラー 発行部数：98,000部 主な内容：市のお知らせや催し、講座情報、市の魅力情報 ほか 配 布 先：町内会加入世帯への配布の他、公共施設や金融機関、 郵便局、医療機関、大型商業施設コンビニエンスストアほか	○		広報広聴課			
						民間の地域情報誌 の活用	民間の地域情報誌を活用 し、講座やイベント情報、 生涯学習に関する情報を 発信する。	子ども・親子向けのイベントは、地域みっちゃん生活情報誌「月刊はるる」に掲載し た。 掲載回数：年12回	○		広報広聴課			
						民間の地域情報誌 の活用	民間の地域情報誌を活用 し、講座やイベント情報、 生涯学習に関する情報を 発信する。	民間地域情報誌に生涯学習に関する情報を掲載した。 令和5年4月号：前期市民講座受講者募集、文化・生涯学習課実施 事業のお知らせ、生涯学習情報サイト「まなびや選科」 について 令和5年9月号：後期市民講座受講者募集、ふれあいセンター芸能発 表会・活動団体について、施設での展示案内 令和6年4月号：生涯学習、市民活動、スポーツに取り組む人を取り上 げ紹介	◎	4月号掲載後、まなびや選科へのアクセ ス数が増加。	いきがい推進課			
						施設における生涯 学習情報コーナーの 設置	公民館等のロビーに生涯学 習に関する講座やイベント について紹介するスペースを 設置する。	施設内の共有スペースを活用し、各公民館などで開催される講座・行催事の情 報コーナーを設置した。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター			
				●生涯学習情報サ イト「まなびや選 科」、市ホームペー ジ、SNS等、イン ターネットを活用した 情報の提供	市ホームページの運 営	市民一人ひとりの求める情 報を的確に提供できるよ う、春日井市ホームペー ジで講座情報、イベント情報 を提供する。	HPアクセス件数：11,112,870件（前年比 2,912,913件減） イベントカレンダーアクセス件数：103,519件（前年比 6,816件減） ※公式アプリ「春ボケ」は令和5年10月末配信停止	○	令和6年1月に市ホームページをリ ニューアル。さらなる検索性の向上やス マートフォンへの最適化による閲覧性の向 上、アクセシビリティへの対応を図った。	広報広聴課				
					生涯学習情報サイ ト「まなびや選科」、市ホームペー ジ、SNS等、イン ターネットを活用した 情報の提供	生涯学習情報サイト「まな びや選科」で講師や生涯学 習活動団体の情報を提供 する。	アクセス件数：40,529件（前年比 9,422件増） 団体登録件数：122団体（前年比 1団体減） 講師登録件数：323人（前年比 22人増、新規登録 27人）	◎	民間地域情報誌に掲載したことで、アク セス件数が増加	いきがい推進課				
					SNSによる発信	市公式LINEを運用し、 様々な市政情報を発信す る。	市公式LINE友だち登録者数 21,553人 「文化・生涯学習」セグメント登録者数 4,123人 （前年比1,529人増） 「文化・生涯学習」分野へのセグメント配信件数 68件	○	広報春日井や戸籍住民課窓口でのチラ シ配布によるLINE友達登録の周知を 行った。	広報広聴課				

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 5 年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1	生涯学 習に関 する情 報提供 の充実	1	多様な媒体 を活用した 情報の提供	より多くの市民に 情報を届けられ るよう、多様な 媒体を効率的に 活用し、市が開 催する講座等の 情報を発信しま す。	●駅や施設等に設 置されているデジ タルサイネージ等 を活用した情報の提供	様々な情報媒体を 活用した情報の発 信	施設に設置されてい るデジ タルサイネージ等 を活用して情 報を提供する。	ふれあいセンターなどの施設に設置されているデジタルサイネージを活用し、施設の 貸館利用の紹介動画や講座開催の情報を提供した。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						春日井駅デジタルサ イネージでの情報発 信	春日井駅のデジタルサイ ネージを活用して情報を発 信する。	年間25回スケジュールを更新（原則として月 2 回） ＜放映例＞ ・道風記念館企画展「おののとうふう～和様の書をつくった 三跡」 ・道風記念館特別展「人と書～日本の書の息吹～」 ・文化・生涯学習課大学連携講座「歴史から読み解く中国のいま」PR ほか	○		広報広聴課
						市政だより	放送をケーブルテレビに委 託し、市民に映像による行 政情報を提供し、市政の PR及び政策への理解を深 める。	市の政策や行催事などの番組の制作。 ・放映回数 毎週 1 番組（5 分） 原則 7 回／日、計52番組 ・市施設での放映等 東部市民センター、味美ふれあいセンター等18施設	○	市政だよりについては、過去の番組を YouTubeで公開しておりいつでも視聴可 能。	広報広聴課
						報道機関との連携	報道機関に取材依頼し、 各種講座やイベントのPRを 行う。	講座、講演会、生涯学習活動団体による館内展示について報道各社へ取材を 依頼し、新聞に記事が掲載された。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
	2	生涯学習の 魅力や活動 情報の発信	生涯学習に対 する市民の関心 を深めるため、 学ぶ楽しさや生 涯学習活動の 魅力や重要性 を伝えます。	●活動する人の声 や画像を活用した 魅力発信	活動する人の声 が伝わる魅力的な発 信	講座受講者や活動団体の 様子が伝わるよう様々な 手法で生涯学習の魅力を 発信する。	講座受講者募集の際に、ホームページに前年度受講者の感想や講座風景写 真を掲載し、講座の内容を分かりやすく伝わるよう工夫した。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター	
				●市内の生涯学習 活動団体やサークル 等の情報発信	生涯学習の魅力や 活動団体の紹介	生涯学習の楽しさや魅力 を伝えられるよう様々な媒体 等を活用して情報を発信 する。	・令和6年4月号広報や民間地域情報誌で、生涯学習、市民活動、スポーツに 取り組む人を取り上げ紹介 ・各施設で活動する生涯学習活動団体の写真付きPRポスターを館内で掲示し た。 ・文化系団体が制作した作品を館内に展示し、活動成果を紹介した。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター	
				●生涯学習情報サ イト「まなびや選科」 掲載内容の充実	まなびや選科の充実	公民館やふれあいセンター 等で活動している団体の活 動内容等をインターネット上 で提供する。	「講師情報」「団体・サークル情報」についてインターネットを通して広く提供した。ま た、登録している講師の活動の様子がわかるような写真やホームページへのリンク を掲載した。 アクセス件数：40,529件（前年比 9,422件増）	○		いきがい推進課	

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名		事業概要		令和 5 年度の実績		自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
2	学習活 動の多 様なき っかけ の提供	3	興味関心か ら実践へ つながる 講座等 の実施	生涯学習を始める きっかけとなる よう、初めての人 でも気軽に参加 できる学習機会 を提供すると ともに、生涯にわたり 意欲的に学びを 深めることができ るような仕組 みづくりを検討 します。	●様々な分野の初 心者向け講座、体 験講座の実施	初心者向け講座	初めての人も気軽に参加 できるような初心者向けの 講座を実施する。	(1)公民館 実 施 数：82講座（337回） 実施講座：やさしいウクレレ入門、はじめてのバドミントン、基礎から学ぶ デッサン教室 ほか 延受講者数：4,340人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：19講座（86回） 実施講座：手ぶらで学べる！「着付けレッスン 1 年生」、はじめてさん のための一眼カメラ入門 ほか 延受講者数：1,054人 (3)青年の家 実 施 数：14講座（85回） 実施講座：楽しく歌おう！ビートルズ、初心者のためのフルート入門 講座、初心者のためのバイオリン入門講座 延べ受講者数： 981人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター			
					アラカルト講座	様々な講座を組み合わせ て多様な学びの機会となる ようなアラカルト形式の講座 を実施する。	(1)公民館 実 施 数： 4 講座（38回） 実施講座：いきいきまなび舎、大人の教養講座、坂下いきいきゼミ ナール、友遊セカンドライフ 延受講者数：795人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター				
					●習得状況に応じ てステップアップでき る講座の実施	ステップアップ講座	継続して学び続けられる よう、習熟度に合わせてス テップアップした講座を実施 する。	(1)公民館 実 施 数：3講座（14回） 実施講座：紙バンドのいろいろな編み方技法を学ぶ（中級）、大人 のクラフトガラスアートに挑戦（中級・上級編） ほか 延受講者数：196人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：5講座（21回） 実施講座：シニアのための持ち込みスマートフォン講座（入門編・応用 編）ほか 延受講者数：217人	○	前期講座で初級、後期講座で中級、応 用編とするなど年間を通じてステップアップ できるよう講座を企画した。	公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター			

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

34

基本的施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己評価	特記事項	担当・関係課
2	学習活動の多様なきっかけの提供	4	活動に関する相談窓口機能の充実	生涯学習に関する相談や学習成果の生かし方、市民活動に関することなど、様々な相談に対応します。	●生涯学習指導員等による相談窓口の充実	生涯学習指導員	市民からの生涯学習に関する相談への対応や学習情報の提供を行う生涯学習指導員を配置する。	生涯学習指導員配置状況 文化・生涯学習課 2人 松原学習センター 2人	○		いきがい推進課
					●ボランティアや市民活動に関する相談事業の実施	ボランティア相談及び市民活動・NPO相談	ボランティアや市民活動を支援するため、ボランティアの紹介や市民活動に関する相談事業を実施する。	(1)ボランティア相談 火曜日～金曜日 午前9時～午後5時 相談件数 1,705件（前年 1,426件・279件増） (2)市民活動・NPO相談 火曜日～日曜日 午前9時～午後5時（相談内容により予約制） 相談件数 112件（前年86件・26件増）	○	窓口での対面相談や電話での相談、団体の活動の場へ出向いての相談を行うことができた。 近隣の大学とボランティア情報を連携し、大学生のボランティア活動への参加促進を行った。	市民活動支援センター
		5	市民ニーズの的確な把握	社会情勢や多様化・高度化するニーズに応じた学習機会を提供するため、様々な機会を捉えて市民ニーズを把握します。	●アンケートを活用した市民ニーズの把握	アンケートを活用した市民ニーズの把握	講座受講者へのアンケート調査を行うとともに、アンケートシステム等を活用して市民ニーズの把握を行う。	各講座において、実施後に受講者に対し、アンケート調査を行った。また、アンケート調査の結果を講師に提供し、改善すべき点を共有することで講座内容の改善を図った。	○		いきがい推進課、公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
3	誰もが参加しやすい学習機会の提供	6	生活様式に応じた多様な学習スタイルの提供	市民の多様なライフスタイルに対応した学習機会を提供するため、多様な学習形態の充実を図ります。	●平日の夜間や休日に開催する講座の実施	夜間や休日における講座の開催	平日昼間に仕事などで参加しにくい人向けに、平日夜間や休日に講座を開催する。	(1)公民館 実施数：117講座（218回） 実施講座：家族で楽しむリトミック、地域史シリーズ、おやじの料理講座 ほか 延受講者数：2,943人 (2)ふれあいセンター 実施数：25講座（58回） 実施講座：ビデオカメラ撮影講座、映像で巡る世界遺産＋旅行気分 ほか 延受講者数：667人 (3)青年の家 実施数：4講座（16回） 実施講座：初心者のための太極拳入門講座、ドンドン挑戦！子ども和太鼓体験講座、キッズ！アウトドア体験講座 延受講者数：218人	○	休日は、男子重向けや家族で参加できる講座を主に企画した。	公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
							平日昼間に仕事などで参加しにくい人向けに、平日夜間や休日に講座を開催する。	実施数：16講座 実施講座：女性のための相続講座、簿記3級をめざして、バドミントンを楽しまう、子育て講座、男の料理塾 ほか 延受講者数：509人	○		多様性社会推進課

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
3	誰もが 参加し やすい 学習機 会の提 供	6	生活様式に 応じた多様 な学習スタ イルの提供	●託児付き講座の 実施	託児付き講座	子どもを持つ人も参加しや すいよう、託児付きの講座 を実施する。	(1)公民館 実 施 数：5 講座（10回） 実施講座：ママへのご褒美！オシャレ講座、ハロウィンを楽しむアイシング クッキー ほか 延受講者数：83人（託児10人） (2)ふれあいセンター 実 施 数：1 講座（4回） 実施講座：ナチュラルケアですこやかに ※味美ふれあいセンターにて、参加者以外の子どもの同伴を可とする講座を4 講座実施した。【同伴可講座】リトミック、おやこでいっしょにA B C 延受講者数：331人（託児3人） (3)青年の家 実施数： 1 講座（4回） 実施講座：童謡・アニメソングを家族で歌おう！ 延受講者数：133人（託児1人）	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター	
					託児付き講座	子どもを持つ人も参加しや すいよう、託児付きの講座 を実施する。	実 施 数：3 講座（3回） 実施講座：子育て講座、スッキリ快適！住まいの整理術、はじめての アイシングクッキーレッスン ほか 延受講者数：21人（託児4人）	○	託児付き講座の数は減ったが、子ども対 象、親子対象講座の数を増やし、定員 を超える応募があった。	多様性社会推進課	
				●オンライン講座や 動画配信によるデジ タルコンテンツの充実	オンライン講座、配 信講座	大学連携講座等で会場で 受講する対面式とZOOM によるオンラインを併用した 講座を実施する。また、時 間や場所を問わず自分の 好きな時に受講できる配信 講座を実施する。	(1)ZOOM講座 実施数：1 講座（2回） 延受講者数：17人 (2)対面・オンライン受講併用講座 実 施 数：3 講座（6回） 延受講者数：74人（うちオンライン16人） (3)動画配信講座 実 施 数: 2 講座 延受講者数：262人	◎	対面式、オンラインを併用することで、ライ フスタイルに合わせて受講方法を選択で きるようにした。	いきがい推進課	
						「市民健康づくり講座」をオ ンライン配信講座で実施す る。	実 施 数：5 講座（すべてオンライン） 講座内容：男性、女性それぞれの特長から考える更年期の過ごし方、 働く世代の睡眠改善～安全に楽しく活動するための睡眠 改善法伝授～、筋肉は最高のオシャレ！筋力トレーニン グの基礎知識について ほか 延受講者数：522人	◎	令和4年度の延受講者数296人から大 幅に増加した（226人増）	健康増進課	
				●施設職員のオンラ インスキル向上	職員研修	施設職員のスキルアップの ため、配信講座に開催方 法関する研修を実施する。	月1回の社会教育事業連絡調整会議において、ZOOMを使った同時配信講 座の実施方法について、公民館等の職員に対し講習を実施した 実施日：令和5年5月23日 参加施設数：11施設	○		いきがい推進課	

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己評価	特記事項	担当・関係課
3	誰もが参加しやすい学習機会の提供	7	障がい者、外国人等の生涯学習活動への支援	障がいのある人が地域社会の中で多様な学習活動に参加できるよう、障がい者に配慮したサポート体制を含め、合理的配慮を提供した学習機会の事実を図ります。	●障がいへの理解促進に向けた啓発	障がい理解するための啓発講座	障がいのある人も社会の一員として活動に参加できる環境を醸成するため、障がいに対する正しい理解と認識を深める講演会を開催する。 講演：障がい理解のための啓発講演会～誰もが安心して暮らせるまちづくり～『現代社会に広がるアディクション』～ゲーム・ギャンブル・アルコールの依存について～ 日時：令和6年1月27日（土）13：30～15：30 場所：東部市民センター 大ホール 参加者：242人 講師：信田さよ子（日本公認心理師協会会長） 内容：ゲーム、ギャンブル、アルコール、薬物、人間関係など現代社会に広がる依存について	◎	ゲーム、ギャンブル依存など現代の社会的な問題となっているテーマとしたことで大幅に参加者が増加した。	障がい福祉課
					●障がい者向け講座等の実施	障がい者向け講座	障がいの特性に配慮した講座を開催する。 実施数：16講座 実施講座：音楽療法、のんびりゆったり体操教室、元気パワーアップ運動教室、楽しい大人の塗り絵講座、視覚障がい者スマートフォン講座、はじめてのスマートフォン講座 ほか 延受講者数：1,557人 （障がいの有無に関わらず募集、障がい者281人）	○	新たに、「キャスター体験」や「DIY」サイクルアート教室」を開講し、多くの方が楽しめるよう企画した。	社会福祉協議会
					●障がい者図書サービスの充実	「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究」事業	障がいの有無に関わらず生涯学習活動に参加できるような機会を提供する。 NPO法人と連携し、文部科学省の「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究」事業の採択を受け、障がい者の生涯学習について研究を行った。 事業名：春日井市における民間団体との連携協働による障害者生涯学習プログラムの開発 連携協議会： 会議4回、出席委員等（延べ）54人 障がい者の生涯学習実践研究講座（7回、延べ151人 障がい者を対象とした体験講座：3講座、延べ106人 視察研修：視察先1施設、参加者5人 コンファレンス：出席者82人（うちオンライン参加19人）	○	令和6年度から市が事業を引き継ぎ、障がい者の生涯学習事業を推進していく。	いきがい推進課
					●障がい者図書サービスの充実	障がい者図書サービス	障がい者に学ぶ機会を提供するため、録音図書や点字図書の製作、ボランティアによる対面読書、図書無料郵送貸出を行う。 (1)デージー図書製作数：31種 (2)点字データ製作数：70種 (3)対面読書：5回 (4)音訳技術講習会（初級編） 1回（12日間） 受講者数：8人 (5)音訳デジタル録音技術講習会 1回（2日間） 受講者数：36人	○	音訳技術講習会（初級編）の受講者の内4名が音訳ボランティアに加入したことで、デージー図書製作の体制が強化できた。	図書館

基本目標Ⅰ 学びにつながるきっかけづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
3	誰もが 参加し やすい 学習機 会の提 供	7	障がい者、 外国人等の 生涯学習活 動への支援	外国人市民が 希望に応じた学 習ができるよう、 学習の支援や ニーズに応じた 学習機会の提 供に努めるとも に、相互理解の ためそれぞれの 文化等を学ぶ機 会の充実を図り ます。	●外国人向け日本 語講座等の実施	外国人向け学習支 援	多文化共生社会の実現に 寄与するため、外国文化の 紹介や体験、親子で楽しく 学ぶ外国語などの講座を 実施する。	(1)日本語教室（かすがいふれあい教室） 「生活者としての外国人」の日本語に関する知識や能力を高める日本語教室を 開催した。また、生活に必要な知識を身に付ける学習機会及び日本に対する理 解を深める日本の文化体験講座も合わせて行った。 実施回数：36回 延参加者数：1,215人 (2)子どもの日本語教室 実施回数：39回 延参加者数：291人	◎	日本語教室について、高蔵寺ふれあいセ ンターで新たに教室を開講し、3教室と する。 子どもの日本語教室について、日本の文 化体験講座を新たに追加する。	多様性社会推進課
					●国際交流ルーム の活用	国際交流ルーム	常駐の相談員を配置し、 相談を受けたり、関係機関 等に繋いだりする一元的相 談を実施する。	常駐の相談員を配置し、多言語資料や国際交流に関する資料を揃えたととも に、言葉や文化の違い、様々な制度を知らないことから起こる不安を取り除くため に相談を受けたり、生活に必要な情報を得るために関係機関等に繋いだりする 一元的相談を実施した。 延利用者数：2,419人	○	令和6年度より市民活動支援センターから レディヤンかすがいへ移転する。	多様性社会推進課
					●外国人市民との 交流事業の実施	わくわく！ふれあい ワールド	多文化共生を促進するた め、市内に住む外国人との 交流や異文化の紹介・体 験を行うわくわく！ふれあい ワールドを開催する。	異文化への理解を深めるとともに、外国人市民と日本人市民との交流を図るた め、市内で活動する国際交流団体により設立された春日井市国際交流ネット ワークに委託し、「わくわく！ふれあいワールド」を実施した。 実施回数：7回 実施内容： 第1回 ささえあいセンターまつり「外国の飲み物文化とジュースを味わう」 第2回 親子でイタリア料理 第3回 多文化共生講演会 自転車で世界を一周した冒険家が語る「夢のか なえ方」 など 延参加者数：4,323人	○		多様性社会推進課
						伝統文化体験イベ ント	日本に対する理解を深める 日本の文化体験講座を開 催する。	日本語教室と合わせて開催した。 実施回数：2回 実施講座内容：書道、茶道 延参加者数：86人	○		多様性社会推進課

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

38

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1	ライフ ステージに 応じた 学習機 会の充 実	8	乳幼児期にお ける学習機会の充 実	乳幼児が健やかに 育つよう、運動や手 遊び等、様々な学 習プログラムの充実 を図ります。また、子 育て中の親が子育て について学んだり、 相談したりすることが できる機会の充実を 図ります。	●親子で楽しめる学 習プログラムの充実	乳幼児を対象とした 講座	運動、手遊び、読み聞かせ など親子で楽しむプログラム や親子のふれあいを提供す る講座を実施する。	(1)講師発掘・登用事業 実 施 数：1 講座（2 回） 実施講座：ヨガでからだを動かそう！ 延受講者数：14人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						乳幼児を対象とした 講座	運動、手遊び、読み聞かせ など親子で楽しむプログラム や親子のふれあいを提供す る講座を実施する。	(1)公民館 実 施 数：20講座（71回） 実施講座：親子でふれあいリトミック、子ども人形劇 ほか 延受講者数：1,599人 (2)ふれあいセンター 実施数：9 講座（38回） 実施講座：おやこでいっしょに A B C !、リトミック ほか 延受講者数：982人 (3)青年の家 実 施 数：1 講座（4 回） 実施講座：童謡・アニメソングを家族で歌おう！ 延受講者数：133人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						乳幼児を対象とした 講座	運動、手遊び、読み聞かせ など親子で楽しむプログラム や親子のふれあいを提供す る講座を実施する。	(1)ひよこ教室・ひよこミニ：79回 延参加者数：2,553人（保護者：1,211名、子：1,342名） (2)その他講座等：77回 延参加者数：1,928人（保護者：905名、子：1,023名） (3)その他イベント等：5回 延参加者数：496人（保護者：192名、子：304名） ※対象者は子どものため、参加者数に小中学生含	○		児童センター
						乳幼児を対象とした 講座	運動、手遊び、読み聞かせ など親子で楽しむプログラム や親子のふれあいを提供す る講座を実施する。	(1)育児講座 未就園児とその保護者を対象に、本の読み聞かせや親子での遊びなどの講座 を通じ、育児に必要な知識を提供した。 実 施 数：23回 参加者数：265組 543人 (2)親子教室 遊びを楽しみながら、親子が触れあう時間を持ったり、子育ての不安や悩みを 話し合える場を作ったり、保護者の友達作りも支援した。 ・すくすく教室 16回 参加者：370人 ・子育てサロン 4 回 参加者：34組71人 ・孫といっしょ 2 回 参加者：6組19人 ・ふたごちゃん集まれ 2回 参加者：6組17人	○		子育て支援センター
						乳幼児を対象とした 講座	運動、手遊び、読み聞かせ など親子で楽しむプログラム や親子のふれあいを提供す る講座を実施する。	子育て家庭の育児不安を和らげ、よりよい親子関係を育てるとともに、子どもや 親同士の仲間づくりのための「出会いの場」を設けた。 実 施 数：20回 内 容：体操、手遊び、リズム遊び、親子ふれあい遊び、簡単な制作 あそび、季節行事など 延参加者数：812人	○		交通児童遊園

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1	ライフ ステージに 応じた 学習機 会の充 実	8	乳幼児期にお ける学習機 会の充 実	乳幼児が健やかに 育つよう、運動や手 遊び等、様々な学 習プログラムの充実 を図ります。また、子 育て中の親が子育て について学んだり、 相談したりすること ができる機会の充実 を図ります。	●親子で楽しめる学 習プログラムの充実	乳幼児を対象とした 講座	子育て家庭の育児不安を和らげ、よりよい親子関係を育てるために、読み聞かせや体操等を通して親子で触れ合う機会を作るとともに、子どもや親同士の仲間づくりのための「出会いの場」を設ける。 ・読み聞かせ 47回 ・げんきっ子体操 192回 ・親子教室 38回 ・育児講座 13回 ・母親のリフレッシュ講座 2回 ・子育て教室 8回 ・親子エアロビクス 1回 ・バランスボールでリフレッシュ 1回 延参加者数：14,543人	◎	それぞれの事業で実施数を増やし、参加者も前年から倍増した。 (前年度：6,770人)	子育て子育て支援館
						乳幼児を対象とした 講座	(1)ブックスタート 実 施 数：60回 参加者数：2,084組 (2)赤ちゃんのためのおはなし会 実 施 数：図書館 20回、西部ふれあいセンター 10回 参加者数：図書館 452人、西部ふれあいセンター 188人 (3)紙芝居とお話を聞く会 実 施 数：139回 参加者数：1,184人 (4)すくすく読み聞かせ会※ 実 施 数：12回 参加者数：146人 ※令和4年度から4か年計画で実施中の幼稚園・保育園特別団体貸出用図書の更新を進め、幼稚園・保育園における読み聞かせ活動を支援している。	○	図書館等において読み聞かせ事業を推進するため、読み聞かせボランティアの希望者を募り、必要な知識や心構え、読み聞かせの技術等を習得する養成講座を実施した。	図書館
						子育てサポートキャ バン隊	児童館、子育て支援拠点等のない地域で事業を行うことで地域の子育て支援機能の充実を図り、子どもの健やかな育ちを支援する。	○	実施場所：7施設 延べ参加人数：3,242人（保護者：1,576人、子ども：1,666人）	子育て推進課
						●子育てに関する 講座や育児相談の 実施	パパママ教室 対象：市内在住の妊婦（妊娠6か月以降）とパートナー 参加者数：427人（パパ168人、ママ259人） 内容：助産師、保健師が実技等を交えながら指導を行う。市薬剤師会の「お薬相談会」を教室終了後に開催 (2)日曜パパママ教室 対象：市内在住の初産婦（妊娠7か月以降）とパートナー 参加者数：841人（パパ421人、ママ420人） 内容：保健師講話（パープレクライング他）先輩パパの体験談、妊婦疑似体験・育児体験、夫婦で行うリラクゼーション	◎		こども家庭支援課

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

40

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1	ライフ ステージに 応じた 学習機 会の充 実	8	乳幼児期にお ける学習機会の充 実	乳幼児が健やかに 育つよう、運動や手 遊び等、様々な学 習プログラムの充実 を図ります。また、子 育て中の親が子育て について学んだり、 相談したりすること ができる機会の充実 を図ります。	●子育てに関する 講座や育児相談の 実施	食育講座(モグモグ 健康教室、カミカミ 健康教室、パクパク 健康教室)	乳幼児期の食育について、 月齢に分けて講座を実施 する。	(1)モグモグごっくん教室 対象：4～6か月児の第1子の保護者 参加者：397人 (2)カミカミ歯っぴー教室 対象：8～11か月児の第1子の保護者 参加者：259人 内容：管理栄養士の講話 離乳食の進め方、保健師の講話 生活リ ズム・成長発達・事故予防、歯科衛生士の講話 口腔機能の 発達と離乳食の進め方、食生活改善推進員が調理した離乳 食サンプル紹介 会場：総合保健医療センター、保健センター	◎	令和5年度、健康増進課から子ども家庭 支援課に業務移管し、名称を「モグモグ健 康教室」から「モグモグごっくん教室」、「カミ カミ健康教室」から「カミカミ歯っぴー教室」 に変更。	こども家庭支援課
						親支援事業(カンガ ルーひろば)	育児不安を抱える母親同 士のグループを対象にグ ループミーティングを行いなが ら、問題解決の糸口が見つ かるよう支援する。	育児不安を抱える母親を対象に、育児不安の軽減、育児スキルの向上、孤立 感の解消と仲間づくり等を目的として、育児指導を行った。 対象：6か月～1歳1か月児の子どもと母親 定員：13組 10グループ実施 スタッフ：臨床心理士、保健師、保育士、歯科衛生士 参加者数：89人	○		こども家庭支援課
						育児相談	子育ての不安や孤立感が 軽減するよう、電話や面 接、Eメールで子育ての不 安や悩みの相談を受ける。	(1)児童センター 実施日時：火曜日～日曜日 9：30～16：00 相談件数：50件 (2)東部子育てセンター 実施日時：月曜日～土曜日 10：00～16：00 相談件数：195件 (3)子育て応援広場キッコロ 実施日時：月曜日～金曜日 10：00～15：00 相談件数：60件 (4)グルッポふじとう児童館 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～16：00 相談件数：349件 (5)すくすくEメール相談 相談件数：4件 (6)子育て子育て支援館 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～18：00 相談件数：電話34件、面接164件、合計198件 (7)子育て支援センター 実施日時：月曜日～金曜日 9：00～16：00 電話相談：29件 面接相談：32件 (8)交通児童遊園 実施日時：火曜日～日曜日 9：00～18：00 相談件数：26件	○		子育て推進課（児 童センター等）、子 育て子育て支援 館、保育課（子育 て支援センター）、 交通児童遊園

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和５年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1	ライフ ステージに 応じた 学習機 会の充 実	9	青少年期にお ける学習機会の充 実	青少年が地域や社 会に参加することに より、豊かな人間 性、社会性を身につ けることができるよ う、様々な体験活動 を通じて学ぶことが できる機会の充実を 図ります。	●親子体験活動等 の実施	各種親子講座	親子を対象に、料理、工 作、体操を始めとし た体験型の講座など を実施し、子どもの 創造力を引き出す。	(1)大学連携講座 実 施 数：１講座（１回） 実施講座：東洋大学連携講座「親子の理科教室～にぼしを解剖 して環境問題について考えよう～」 延受講者数：30人 (2)講師発掘・登用事業 実 施 数：２講座（２回） 実施講座：マインドフル絵本と親子ヨガ、紙のステンドグラス「ローズ ウィンドウ作り」 延受講者数：17人	○		いきがい推進課
								(1)公民館 実 施 数：59講座（93回） 実施講座：親子で学ぶお片付け教室、親子でチャレンジ！みそだまづく り、親子でトライ！ダンスの基本ステップ入門 ほか 延受講者数：1,890人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：13講座（48回） 実施講座：親子で体験！楽しい手打ちそば作り、親子講座「恵方巻 づくり」 延受講者数：1,197人 (3)青年の家 実 施 数：１講座（４回） 実施講座：童謡・アニメソングを家族で歌おう！ 延受講者数：133人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
								実 施 数：37回 実施講座：にこにこ劇場、ミニコンサート、ファミリークッキング、パパとクッキ ング、げんきっ子フェスタ、豆まき、おやこ広場イベント 参加者数：2,216人	◎	実施数を増やし、参加者も前年から倍増 した。 （前年度：25回、1,284人）	子育て子育て支援 館
								実 施 数：１講座（1回） 実施講座：自転車乗り方教室 延受講者数：５人	○		交通児童遊園
				●小中学生を対象 とした講座、イベント の実施	小中学生を対象とし た講座 （親子対象は含ま ない）	小中学生を対象に、料理、 工作、体操を始めとし た体験型の講座など を実施し、子どもの 創造力を引き出す。	(1)大学連携講座 実 施 数：２講座（２回） 実施講座：中部大学連携講座 「関節を治す技術を応用し、オリジナルキーホルダーを作っ てみよう！」 「食べられる！色も変わる！？不思議なビーズを作ろう！」 延受講者数：35人 (2)講師発掘・登用事業 実 施 数：２講座（２回） 実施講座：中部大学連携講座 延受講者数：35人	○		いきがい推進課	

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

42

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1	ライフ ステージに 応じた 学習機 会の充 実	9	青少年期にお ける学習機会の充 実	青少年が地域や社 会に参加すること により、豊かな人間 性、社会性を身に つけることができ よう、様々な体験 活動を通じて学 ぶことができる 機会の充実を図 ります。	●小中学生を対 象とした講座、イ ベントの実施	小中学生を対象と した講座 (親子対象は含 まない)	小中学生を対象に、料理、 工作、体操を始めとした体 験型の講座などを実施し、 子どもの創造力を引き出 す。	(1)公民館 実 施 数：16講座（24回） 実施講座：キッズのお菓子作り講座、子ども茶道教室 ほか 延受講者数：340人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：8 講座（10回） 実施講座：夏休みこども工作教室、夏休みこども将棋教室 ほか 延受講者数：143人 (3)青年の家 実施数：2 講座（6回） 実施講座：ドドンと挑戦！夏の子ども和太鼓体験講座、キッズアウト ドアわくわく体験講座 延受講者数：51人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
								児童センター 講座等：4回、191人 その他イベント等：5回、496人（親：192名、子：304名） ※対象者は子どものため、参加者数に乳幼児とその保護者含	○		児童センター
								交通児童遊園 実 施 数：9 回 実施講座：手品教室、和太鼓体験教室、陶芸教室 ほか 延受講者数：102人	○		交通児童遊園
								子育て子育て支援館 実 施 数：34回 実施講座：子ども講座、軽運動遊び、ヒップホップ、工作教室、児童の 部屋工作イベント、伝承遊び、おいしいクッキング、げんきっ子 会議 参加者数：481人	◎		子育て子育て支援 館
						子ども司書養成講 座、10代の未来さ がし講座	講座を開催することで、図 書館への関心を高め、読書 活動の意義を見出すことを 促す。	実施数：2 講座（5 回） 実施講座：子ども司書養成講座 （現役の司書から図書館業務を学ぶ） 10代の未来さがし講座 （大学教員から人生の助けになることを学ぶ） 延受講者数：14人	○		図書館
						里山体験（田んぼ と森の学校）	里山的環境を利用した米 作り体験をすることで自然と 人との関わりについて考え、勤 労体験と収穫の喜びを味わ い、生きるために重要な 「食」について考える。	里山体験（田んぼと森の学校） 実 施 数：9回 延受講者数：262人	○		野外教育センター

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1	ライフ ステージに 応じた 学習機 会の充 実	9	青少年期における学習機会の充実	青少年が地域や社会に参加することにより、豊かな人間性、社会性を身につけることができるよう、様々な体験活動を通じて学ぶことができる機会の充実を図ります。	●小中学生を対象とした講座、イベントの実施	土曜チャレンジ・アップ教室	小学生が土曜日を有意義に過ごす機会を提供するため、大学や地域の企業等の協力により、小学校においてスポーツや理科の実験等を行う。	子どもたちの自主性を高め、幅広い成長を促すとともに可能性を広げるために、地域の多様な経験や技能を持つ人材・大学・企業等の協力により、子どもたちにとってより豊かで有意義な土曜日を実現する。 実 施 校：10校 実施回数：39回 参加者数：455人	○	藤山台中学校区及び石尾台小学校区において、地域の自主的な取り組みとして土曜日の体験活動を行っている。	学校教育課
						わいわいカーニバル	さまざまな人との関わりや体験を通して、子どもが持つ自由で伸びやかな創造力を引き出す子どもの祭典を開催する。	開 催 日：5月14日（日） 開催場所：落合公園 参加団体数：56団体、事業数：55事業 来場者数：10,000人 ※当日は雨天のため、事業の一部が中止となった。	○		子育て推進課
		10	成人期における学習機会の充実	家庭生活に関する知識や技術を習得する機会の充実を図ります。	●家庭教育の重要性を学ぶ学習機会の充実	ふれあい教育セミナー	家庭教育の大切さ等を学習する「ふれあい教育セミナー」に対して補助することで、家庭教育力と地域教育力の向上を図る。	家庭教育の大切さ等を学習する講座を充実させ、家庭教育力と地域教育力の向上を図った。 実施団体数：50団体（認定こども園1園、私立保育園1園、幼稚園9園、小学校30校、中学校9校） 開催回数：214回（うち託児付き33回） 事業内容：手作り絵本～子どもの心を豊かにする～、子育てコーチング、生活習慣に関するルールづくり講座、スマホ・ネット安全教室 ほか 延参加者数 13,146人（託児人数延べ150人）	○		いきがい推進課
						認知症サポーター養成講座	認知症に関する正しい知識の普及や認知症高齢者等を介護する家族等の支援を図るため、認知症サポーター養成講座を開催する。	実施回数：34回 要請人数：1,021人	○		地域共生推進課
						消費生活講座	悪質商法による被害を未然に防止するための知識や被害にあった場合の対処法等を学べる講座を開催する。	消費生活に関する諸問題について正しい知識を身に付け、適切な問題解決を図れるように講座を開催した。 実 施 数：12講座 実施講座：派遣講座（5講座）、市等主催講座（7講座） 延受講者数：136人	○	老人会等の団体を中心に、消費生活相談員など専門家を派遣しており、消費者被害の軽減や防止に役立っている。	市民生活課

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

44

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1	ライフ ステージに 応じた 学習機 会の充 実	11	高齢期における 学習機会の充 実	●健康づくり、趣味 等に関する学習の 場の提供	かすがい熟年大学	高齢者が充実した余暇時 間を過ごすとともに学習を 通じて健康で生きがいのある 生活が送れるよう学習の 場を提供する。	実 施 数：5コース各13回、合同講座2回 内 容：生活、歴史、文学、健康科学、芸術文化の5コースを実施 延受講者数：6,426人	○	令和6年度から多少年令和18歳以上に 拡大した「かすがいいいきいきアカデミー」とし て実施する。	いきがい推進課
					シニア世代を対象と した講座	シニア世代を対象に健康や 趣味に関する講座を開催す る。	(1)公民館 実施数：2講座（9回） 実施講座：ボイストレーナーと楽しく脳トレ！歌いながらストレッチ、 いきいき健康バランスボール【60～80代限定】 受講者数：112人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
				●地域の支え手とし てのスキルを身に付 ける機会の提供	Uターン育児塾	祖父母世代に新しい育児 事情の学習機会を与え、そ の立場から育児参加をして もらい、出産・育児支援の 充実を図る。	もうすぐ孫が生まれる人、または1歳未満の孫がいる祖父母を対象に、育児教 室を行う。祖父母は主体的に育児を担うのではなく、新米パパママのサポーターと して活躍することを目的に実施した。祖父母世代のみでなく、パパ、ママ同伴も 参加可能 対 象 者：もうすぐ孫が生まれる人、または1歳未満の孫がいる人 内 容：保健師の講話・育児体験 実施回数：4回 参加者数：52人	○		こども家庭支援課
				●オンラインスキル向 上のための学習機 会の提供	シニア向けICT講座	デジタルデバイドの解消に 向け、シニア向けにスマート フォン講座等を実施する。	(1)公民館 実 施 数：6講座（14回） 実施講座：シニアのための持ち込みパソコン教室、やってみよう！ネット で講座の申し込み ほか 受講者数：145人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：6講座（32回） 実施講座：シニアのためのスマホ活用講座、初めてのスマートフォン 受講者数：230人 (3)青年の家 実 施 数：1講座（1回） 実施講座：スマートフォンの活用講座～Wi-Fiを使って公共施設の 予約をしよう～ 延受講者数：9人	◎	文部科学省の国民のデジタルリテラシー向 上事業（情報通信技術講習費補助 金）を課長して実施。	公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
				●消費者トラブルに ついて学ぶ機会の提 供	消費生活講座	悪質商法による被害を未 然に防止するための知識や 被害にあった場合の対処法 等を学べる講座を開催す る。	消費生活に関する諸問題について正しい知識を身に付け、適切な問題解決を 図れるように講座を開催した。 実 施 数：12講座 実施講座：派遣講座（5講座）、市等主催講座（7講座） 延受講者数：136人	○	老人会等の団体を中心に、消費生活相 談員など専門家を派遣しており、消費者 被害の軽減や防止に役立っている。	市民生活課

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1	ライフス テージに 応じた 学習機 会の充 実	12	リカレント教育の 推進	マルチステージの人生 に対応することが できるよう、自己実 現や職業能力の向 上等に必要な知 識、技能、教養を身 につける学び直しの 機会を提供します。	●資格取得を目指 した講座の実施や 情報の発信	資格取得を目指し た講座の実施	自己実現や職業能力の向 上等に必要な知識、技 能、教養を身につける学び 直しの機会を提供する。	実 施 数：1 講座（12回） 実施講座：簿記3級をめざして 延受講者数： 228人	○		多様性社会推進課
						資格取得を目指し た講座等の情報発信	自己実現や職業能力の向 上等に必要な知識、技 能、教養を身につける学び 直しの機会についての情報 を発信する。	大学の単位を取得できる放送大学の履修生募集情報について、チラシの設置 や広報春日井での周知を行った。	△	今後、ホームページで関連サイトへのリンク 集などを作成し情報の充実を図る。	いきがい推進課
2	生涯ス ポーツの 推進	13	コミュニティスポ ーツの推進	あらゆる世代の人々 の交流を促進し、地 域の活性化や人々 の連帯感及び協働 意識の向上を図るた め、コミュニティスポ ーツを推進します。	●スポーツ推進委員 の育成	スポーツ推進委員	地域のスポーツ大会、ス ポーツ教室等の実施に関す る連絡調整及び指導・助 言や健康・体力づくりの実 技指導を行うスポーツ推進 委員の充実を図る。	(1)春日井市スポーツ推進委員実技研修会の開催（4回） (2)その他（研修会等への参加） 愛知県スポーツ推進委員研修会 4市スポーツ推進委員会合同研修会 (3)スポーツ推進委員の派遣 派遣件数：35件 派遣人数：117人	◎		文化スポーツ振興課
						学校区体育振興会 交流大会	健康・体力づくり運動に関 する啓蒙と事業実施を行う 学校区体育振興会を育成 し、地域スポーツの振興を 図る。	(1)地域住民のスポーツ・レクリエーションの普及振興を図るため、春日井市ス ポーツ協会を通じて各学校区体育振興会に補助金を交付した。 (2)学校区体育振興会交流大会 期 日：11月19日（日） 会 場：総合体育館第1競技場、総合体育館運動広場 種 目：ソフトバレーボール、グラウンド・ゴルフ 参加人数：ソフトバレーボール 178人（33チーム） グラウンド・ゴルフ 171人（57チーム）	○		文化スポーツ振興課
						ラジオ体操会	子どもから高齢者まで、あ らゆる世代の交流や健康づ くりを推進するため、毎年8 月の第1日曜日を「ラジオ 体操の日」とし、「みんなでラ ジオ体操会」を実施すること で、ラジオ体操の普及を図 る。	(1)みんなでラジオ体操会 期 日：8月1日（火） 会 場：落合公園 参加人数：1,020人 (2)ラジオ体操！チャレンジ宣言 期 日：7月21日（金）～8月31日（木） 団 体 数：70団体 参加人数：5,737人	◎	春日井市制80周年事業として、「夏季巡 回ラジオ体操・みんなの体操会」を開催。	文化スポーツ振興課

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

46

基本的 施策			取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和５年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
2	生涯ス ポーツの 推進	14	スポーツに関する 学習機会の充 実	市民が気軽にスポー ツに取り組むきっかけ となるよう、日常的に スポーツやレクリエー ションスポーツに親し める機会の充実を図 ります。	●スポーツ教室の実 施	スポーツに関する講 座・教室	健康づくりやいきがいづくりを 推進するため、気軽に体を 動かし、スポーツに親しめる 講座を実施する。	(1)公民館 実施数：21講座（118回） 実施講座：はじめてのバドミントン～基本を踏まえて楽しくラリー～、誰で も楽しめるバランスボール 延受講者数：1,440人 (2)ふれあいセンター 実施数：26講座（142回） 実施講座：今日から始める若返り運動教室、らくちん筋力アップ体操 延受講者数：2,442人 (3)青年の家 実施数：1 講座（6回） 実施講座：初心者のための太極拳入門講座 延受講者数：34人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター	
					●スポーツイベントの 実施	スポーツイベント	マラソン大会、スポーツフェ スティバルなどを実施し、多く の市民が生涯を通じてス ポーツに親しむことができ よう、各世代のニーズに合 わせたスポーツへの参加機 会の充実を図る。	(1)新春春日井マラソン大会 期日：1月7日（日） 参加人数：4,765人 (2)かすがい！スポーツフェスティバル 期日：10月9日（月・祝） 参加人数：6,085人 (3)レクリエーションスポーツ祭 2023 期日：6月11日（日） 参加人数 456人 (4)市民体育大会 期日：4月1日（金）～3月31日（金） 参加人数：8,485人	◎	各種イベントの参加者が増加。 高校生スポーツ大会が令和５年度から廃 止	文化スポーツ振興課	
					●春日井市スポーツ ふれあい財団との連 携強化	春日井市スポーツ・ ふれあい財団との連 携	生涯スポーツ教室や出張ス ポーツ講座を始め、さまざ まなスポーツ教室（講座）や スポーツイベントを行う、春 日井市スポーツ・ふれあい 財団と連携し、スポーツに 親しむ機会の充実を図る。	(1)スポーツ教室（講座）の開催 実施内容：生涯スポーツ教室事業、運動指導事業、地域ふれあい運 動教室、出張スポーツ講座及びトレーニング教室 延 回 数： 3,901回 延参加人数：83,550人 (2)スポーツイベントの実施 実施内容：親子で楽しむ！スポーツ教室、Fリーグ春日井大会、ライフ セービング体験&いのちの教室、萩原智子杯水泳競技大 会in春日井兼サンフロッグ春日井水泳競技大会、飛び込 みをマスターしよう！、スポーレ春日井記録会、スポーレ春 日井ラグビー祭 ほか 延参加人数：19,411人	◎		文化スポーツ振興課	

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
3 文化芸 術の振 興	15 文化芸術の鑑 賞機会や学習 機会の提供	質が高く幅広いジャンルの公演を鑑賞したり、文化芸術を体験したりできる機会を提供し、誰もが気軽に文化芸術に親しむことができる環境の充実を図ります。	●地域の身近な場所での鑑賞・交流機会の提供	かすがいどこでもアート・ドア	身近な場所で文化芸術が鑑賞でき、交流できる機会を提供するため、各ジャンルのアーティストを市内の保育園や公民館等に派遣する。また、小・中学校の授業型アウトリーチ「スクール・アート・ドア」を実施し、子どもの頃から芸術に親しむ機会を提供する。	派遣アーティスト数：音楽・伝統芸能系15組、美術系3人 実施回数：44回（うちスクール・アート・ドア15回） 延参加者数：5,173人（うちスクール・アート・ドア1,632人）	◎	文化スポーツ振興課 （かすがい市民文化財団）
			●様々な文化を体験できる機会の充実	かすがい文化フェスティバル	次代を担う子どもたちが茶道、華道、日本舞踊等の伝統文化を始めとしたさまざまな文化に親しみ、身近に体験できる講座を開催する。	伝統文化から現代アートまで、子どもたちが多様な芸術文化に触れられる総合体験型イベント「かすがい文化フェスティバル2023」を実施した。 (1)夏休みワークショップ 実施数：13講座 延参加者数：367人 (2)夕涼みシネマ 延参加者数：165人	○	文化協会の協力を得て事業を実施 文化スポーツ振興課 （かすがい市民文化財団）
			●芸術家によるアウトリーチ活動	わへく書つづ	地域の身近な場所で文化芸術に親しめるよう、書家を地域の集会所や公民館に派遣する。	書に触れる機会を提供するとともに、それぞれの地域の身近な場所において書に親しんでいただくため、市内外で活躍する書家を派遣する「わへく書つづ」を実施した。 実施プログラム：5講座 実施回数：11回	○	美術協会の協力を得て事業を実施 文化スポーツ振興課
			●かすがい市民文化財団との連携	かすがい市民文化財団との連携	かすがい市民文化財団の運営を補助し、多くの市民が文化芸術にふれあう機会を提供する。	かすがい市民文化財団の運営を補助し、多くの市民が文化芸術にふれあう機会を提供した。また、市制80周年記念事業として、かすがい市民文化財団に事業を委託し、将棋フェスティバルを開催した。 408人参加	◎	文化スポーツ振興課
	16 市民による文化 芸術活動の推 進	市民の自主的・主体的な活動がさらに活発になるよう、活動の成果を披露することができる機会の充実等に取り組みます。	●文化芸術イベントの実施	文化芸術イベント	かすがい市民文化財団と連携し、文化芸術の鑑賞機会の充実を図る。	(1)美術系事業 新進作家支援事業 山田雅哉「エチカ」、のだめカンタービレ展、中日新聞報道写真展 (2)舞台系事業 市制80周年記念事業 第30回日本舞踊鑑賞会、帰ってきた びわ湖ホール四大テノール・コンサート、松竹歌舞伎舞踊公演、ミュージカル『カラフル』、手裏剣concert2023～Trio～、市制80周年記念事業 生で聴く「のだめカンタービレ」の音楽会 ニューイヤーコンサート ほか	◎	市制80周年記念事業など、様々な分野、年齢層を対象とした事業を実施 文化スポーツ振興課 （かすがい市民文化財団）

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

48

基本的施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己評価	特記事項	担当・関係課
3	文化芸術の振興	16	市民による文化芸術活動の推進	市民の自主的・主体的な活動がさらに活発になるよう、活動の成果を披露することができる機会の充実等に取り組めます。	●公民館等や文化芸術拠点施設を活用した発表機会の提供	市民美術展覧会ほか	市民の作品発表と鑑賞の機会を提供するため、日本画、洋画、書、彫塑工芸、写真の部門での公募展を開催する。 市民の美術作品の発表と鑑賞の場を設けることにより、市民の美術文化の向上を図った。 審査：8月6日（日） 展示：8月19日（土）～27日（日） 募集部門：日本画（水墨画を含む）、洋画（油彩・水彩・版画等）、書（篆刻・刻字を含む）、彫塑工芸、写真 出品数：計655点 鑑賞者：8,980人 ※ホームページでカラー版入賞者名簿の掲載を行った。（373アクセス）	○	市内高校の芸術系部活動に出品を呼びかけた効果などから、学生からの新規出品は32名増え、全体の出品も昨年と比べ26作品増加した。出品者に比例し来場者数も増加傾向にある。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）
		17	特色ある文化の推進	春日井市独自の文化の普及、振興に向けた取組みを推進することで、市民の文化に対する関心を深めます。	●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	道風展	春日井市で生まれたと伝えられ、三跡の筆頭として日本書道史上に大きな足跡を残した小野道風の偉業をたたえる、全国公募の書の展覧会を開催する。 春日井展：10月29日（日）～11月5日（日） 表彰式：10月29日（日） VR展：10月29日（日）～12月3日（日） 道風記念館 特別巡回展：10月29日（日）～12月3日（日） 学生半紙の部巡回展：11月27日（月）～12月17日（日） JR春日井駅自由通路展示コーナー 一般部巡回展：12月13日から、西部ふれあいセンター、グルッポふじとう、市庁舎 募集部門：一般部 第1部漢字、第2部かな、第3部近代詩文、第4部少字数、第5部小品、学生部 半紙、条幅 応募点数：一般部353点、学生部5,541点、計5,894点	○	出品数は昨年度に比べ406点増加した。特に県外からの新規団体の出品のほか、学生条幅の部では強豪校からの出品も続いており、特別巡回展を含めると来場者数も1,500人以上増加した。	文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）
					●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	書に関する作品の展示	(1)特別展 「人と書～日本の書の息吹～」 9月23日（土）～10月29日（日） ※第33回書学書道史学会大会を誘致 (2)企画展 「おののとうふう～和様の書をつくった三跡～」 7月14日（金）～9月18日（月） 「中国名碑拓本展」 11月3日（金）～12月10日（日） (3)館蔵品展 「書の魅力」 4月26日（水）～7月9日（日） 「書に想いをのせる」前期 12月15日（金）～2月12日（月） 「書に想いをのせる」後期 2月27日（火）～4月21日（日） (4)第42回道風の書臨書作品展 1月13日（土）～28日（日） ※年間観覧者数：6,465人	○	特別展では、顧問の古谷稔氏のコレクションを展示した。まとめて公開されたことのないもので、全国の書の研究者から注目された展覧会となった。書学書道史学会大会の誘致により、より効果があがったといえる。	道風記念館
					●「書のまち」、「自分史」の普及、振興	自分史作品の公募	全国から出版物の寄贈を受け入れるとともに、作品公募事業を実施し、優れた作品を冊子にまとめるなど自分史作品を収集する。 自分史活動の振興と春日井市のPRを図り、短編の自分史作品を公募し、作品集を製作した。 テーマ：「わたしの よりみち かえりみち」 公募数：121作品 作品集への掲載数：14作品 ※作品集の体裁や印刷方法を変え、価格を見直した。また、掲載者の交流会を開催するなど、コミュニティの醸成に努めた。。	○		文化スポーツ振興課（かすがい市民文化財団）

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和５年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
3	文化芸 術の振 興	17	特色ある文化の 推進	春日井市独自の文 化の普及、振興に 向けた取組みを推 進することで、市民 の文化に対する関 心を深めます。	●「書のまち」、「自 分史」の普及、振興	自分史関連事業	自分史活動により、個人を 敬い、心のつながりを認識 することを目指す。	自分史を社会課題解決に活用し、誰にでも起こりえる"孤独・孤立"の問題に対 して、地域の公立文化施設が課題解決のプラットフォームとして持続的・安定的 に機能するための支援モデル構築を目的として実施した。 (1)「あなただけの"とっておき"のアルバムをつくらう」 講師：浅田政志（写真家）２日間実施、計26人参加 (2)「モヤモヤの正体 わたしと身体のつながりを知る」 講師：尹 雄大（もの書き、インタビュアー） 「モヤモヤを聞く」大人向け、19人参加 「モヤモヤを話す」10-20代向け、５人参加	○	（公社）全国公立文化施設協会から受 託し、社会課題解決に向けた取り組みとし て実施。	文化スポーツ振興課 （かすがい市民文 化財団）
		18	郷土文化の継 承、文化財保 護意識の啓発	郷土の文化財や伝 統文化を未来へ受 け継ぐことができよ う、保護、保存及び 活用を図るとともに、 春日井の歴史や文 化財への市民の理 解、関心を深めま す。	●文化財や伝統芸 能等の保存、継 承、活用	郷土芸能出前講座	地域の郷土芸能保存会を 小学校に招き、模範演技 の披露や体験・練習・発表 を通して郷土芸能の保存・ 伝承について考える機会を 提供する。 開催校：玉川小学校 開催日：10月19日（木） 参加児童数：３年生 46人 保存団体：玉野郷土芸能保存会始め５団体 開催校：神領小学校 開催日：11月８日（水） 参加児童数：４年生 88人 保存団体：大留下樺の手保存会始め２団体	小学生を対象に郷土芸能保存団体が地域の郷土芸能を披露し、体験を通じ て地域に伝わる郷土芸能の奥深さを理解し、郷土を愛する気持ちを高めるた め、郷土芸能出前講座を実施した。 開催校：玉川小学校 開催日：10月19日（木） 参加児童数：３年生 46人 保存団体：玉野郷土芸能保存会始め５団体 開催校：神領小学校 開催日：11月８日（水） 参加児童数：４年生 88人 保存団体：大留下樺の手保存会始め２団体	○		文化財課
					●文化財や伝統芸 能等の保存・継承・ 活用	郷土芸能等のデジ タルアーカイブ化	市の文化財について認知 度を高めるため、VR（パー チャル・リアリティ）による見 学ツアーやPR動画や360° 動画の作成等、デジタル データを活用した文化財情 報を積極的に発信する。	伊多波刀神社（市指定無形民俗文化財「伊多波刀神社奉納流鏑馬」が奉 納される神社）のVR（バーチャル・リアリティ）見学ツアーを市ホームページで公 開した。	○	民俗考古展示室（２件）、指定文化財 （６件）、遺跡（６件）を公開中	文化財課
					●春日井の歴史、 文化財に関するイベ ント、講座等の実施	民俗考古企画展示	市の歴史や文化財の周知 啓発を図る考古資料や民 俗資料を活用し、企画展 を実施する。	(1)考古関係「食事の考古学」ほか ２回 観覧者：1,906人 (2)民俗関係「職人の手仕事」ほか ３回 観覧者：1,576人	○		文化財課

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

50

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
3	文化芸術の振興	18	郷土文化の継承、文化財保護意識の啓発	郷土の文化財や伝統文化を未来へ受け継ぐことができるよう、保護、保存及び活用を図るとともに、春日井の歴史や文化財への市民の理解、関心を深めます。	●春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座等の実施	内津文化財祭、ハニワまつり、古代史講座	(1)内津文化財祭 開催日：5月14日（日） 会 場：内々神社 内 容：和楽器ユニット演奏、指定文化財「御舞台」と三十六歌仙額の公開、社殿・庭園・すみれ塚ガイド（雨天により茶会中止） 参加者：200人 (2)ハニワまつり 開催日：10月28日(土) 会 場：二子山公園 内 容：ハニワの野焼き、体験工房、舞台芸能、製鉄実演、クイズラリー、音楽祭 参加者：4,500人 (3)講座 (ア)親子体験教室7回 実施講座内容：「クラフトバンドでこいのぼりのカゴをつくろう」ほか 延受講者数：154人 (イ)特別講座3回 実施講座内容：「織内の須恵器系埴輪」ほか 延受講者数：262人 (ウ)古代史講座3回 実施講座内容：「中世尾張の窯業生産と窯炉」ほか 延受講者数：120人	○	イベント内容の見直しや、PR動画の制作、デジタルサイネージ等を活用した啓発によりイベント情報を発信し、参加者の増加を図る	文化財課
					●春日井の歴史、文化財に関するイベント、講座等の実施	郷土誌かすがいの発行（第82号）	春日井の歴史や文化財への市民の理解、関心を深めるため、郷土誌かすがいを発行する。 発行日：令和5年11月1日 発行部数：2,500部 内容 「円福寺観音堂厨子および棟札六枚の調査」岩田敏也 「春日井の非常守」近藤雅英 「春日井市内津町の「すみれ塚」についての考察」尾崎尚志	○		文化財課
4	自主的な学習活動への支援	19	図書館、図書室の充実	市民の多様な学習ニーズに対応するため、図書資料をはじめ、各種資料の整備を推進するとともに、利用者ニーズに対応したサービスの充実を図ります。	●図書資料、視聴覚資料の充実	図書資料、視聴覚資料の充実	利用者のニーズに応じた図書資料の充実に努めるとともに、地域性や利用者ニーズ等を配慮した排架に努め、利用しやすい環境を整える。 蔵書数 春日井市図書館 590,838冊 高蔵寺まなびと交流センター図書館 82,896冊 味美ふれあいセンター始め9図書室 102,456冊 合計 776,190冊 (9,781冊減)	○	春日井市及びその周辺地域及び書道に関連する資料を幅広く収集した。また、不用資料等を積極的に除籍し、書庫の適正な管理を行った。	図書館
					●中高生を対象としたティーンズサービスの充実	ティーンズサービスの充実	中学生・高校生（10代）の利用促進を図るため、T C（ティーンズコーナー）通信を発行するとともに、中学生・高校生の意見を取り入れながらサービスの充実を図る。 (1)T C（ティーンズコーナー）通信発行 年6回 (2)T C蔵書の拡充 令和4年度末6,042冊 → 令和5年度末6,283冊 (3)10代の未来さがし講座 読書からの贈り物～選書と本の対話～ 日 時：11月11日（土） 場 所：文化フォーラム春日井 受講者数：児童・生徒7名、保護者4名	○	市内高校と協力し、毎回のTC通信に、現役高校生の寄稿した本の紹介文を掲載した。	図書館

基本目標Ⅱ 学びを多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

基本的 施策		取組み		主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
4	自主的 な学習 活動へ の支援	20	生涯学習活動 団体への支援	公民館等で活動する同好会やサークル活動団体をはじめ、文化やスポーツ等の社会教育関係団体への支援を行い、地域の活力向上や市民の多様な学習活動の活性化を図ります。	●団体活動のPR支援	生涯学習活動団体のPR支援	公民館等で活動する同好会やサークル活動団体のPRを行う。	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
					●施設の優先予約や使用料減免等による生涯学習活動団体の活動への支援	生涯学習活動団体への支援	生涯学習活動団体が活動しやすくなるよう支援する。	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
					●施設の優先予約や使用料減免等による生涯学習活動団体の活動への支援	文化スポーツイベント補助金	文化の振興、スポーツの振興及び競技力の向上を図るため、個人及び文化・スポーツ活動団体が、全国的規模で開催する公演の実施や全国的規模のスポーツ大会に出場した際等に、補助金を交付する。	◎	全国大会等の開催が昨年度よりも多くなり、それに伴い、補助金の申請数も増加となった。	文化スポーツ振興課
					●施設の優先予約や使用料減免等による生涯学習活動団体の活動への支援	春日井市スポーツ協会運営費補助金	スポーツ協会の運営や、学校区体育振興会を含む加盟団体の育成、各加盟団体が行うスポーツ教室等の助成を通して地域のスポーツ振興を図るため、スポーツ協会に補助金を交付する。	○		文化スポーツ振興課

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 5 年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1	社会的 課題に 対応し た学習 機会の 充実	21	健康に関する学 習機会の充実	●各ライフステージの 健康課題に対応し た講座の実施		女性のためのヘルス アップ講座	各ライフステージにおける女 性を対象とした健康づくり講 座を実施する。	実施回数：2 回 参加人数：26人 対象及び内容：壮年期世代 更年期の対処法、健康運動	○	令和 3 年度からは壮年期世代対象の更 年期の対処法に限定して実施している。	健康増進課
						お気軽健康教室	高齢期における自立度の 低下を防ぎ、健康寿命の 延伸を図るため、ロコモティ ブシンドロームや認知症の 予防に効果的な軽運動を 行う教室を開催する。	(1)総合保健医療センター 実施回数：47回 参加者数：2,210人 (2)保健センター 実施回数：45回 参加者数：1,100人	◎		健康増進課
				生涯健康でいきいき と暮らせるよう、健康 づくりへの意識高揚 を図るため、健康に 関する情報提供や 健康に関する知識を 身につける学習機会 の提供を推進しま す。	●健康づくりや介護 予防を実践する機 会の提供	健康に関する講座 の実施	幅広い世代を対象に健康 に関する知識の習得や体 力づくりなど様々な切り口で 健康に関する講座を実施 する。	(1)公民館 実施数：10講座（51回） 実施講座：免疫力をアップしよう！体にやさしい簡単エクサ サイズ、体にうれしい発酵食～麹を使ったワンプ レートランチ 延受講者数：698人 (2)ふれあいセンター 実施数：7講座（42回） 実施講座：健康ヨガ、体感！背骨コンディショニング 延受講者数：482人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						健康救急フェスティ バル	市民団体、医師会などの 関係機関、健康支援プロ グラム登録企業が「健康・ 救急」をテーマにした体験型 のブースや講演会などを実 施する。	9 月第 1 日曜日の「健康の日」、9 月 9 日の「救急の日」にあわせ、市民の「健 康づくり」の知識を広げるとともに、「救急活動」への理解を深めることを目的に実 施。 実施日程：9 月 3 日（日）10 時～15 時 会 場：市役所、文化フォーラム春日井 延参加者数：5,500 人	○	会場変更した（令和 4 年度以前は総合体育 館で実施）。 市制80周年記念事業として、プロフィギュアス ケーター元オリンピック日本代表鈴木明子氏によ るトークショーなどの特別企画を実施した。	健康増進課
						健康づくり出前講座	保健師、栄養士、歯科衛 生士又は健康支援プログラ ムの登録企業の講師が地 域で活動する団体やグルー プ等に出向いて、健康づく りに関する各種講座を開催 する。	実施数：112 回（うち企業講師33回） 実施講座：講座メニュー一覧登録講座その他 延受講者数：2,289 人	○		健康増進課
						市民健康づくり講座	生活習慣を改善するきっか けづくりとなるよう、健康づく りと予防方法に関する正しい知識を身につけることがで きる講座を実施する。	実 施 数：5 講座（すべてオンライン） 講座内容：男性、女性それぞれの特長から考える更年期の過ごし方、 働く世代の睡眠改善～安全に楽しく活動するための睡眠 改善法伝授～、筋肉は最高のオシャレ！筋力トレーニ ングの基礎知識について ほか 延受講者数：522 人	◎		健康増進課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和５年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1	社会的 課題に 対応した学習 機会の 充実	22	環境に関する学 習機会の充実	市民一人ひとりが、 環境問題について 正しい認識を持ち、 環境に配慮した生 活を送れるよう、学 習機会の充実を図 り、環境学習を推進 します。	●座学やフィール ドワーク、ワークショ ップ等を通じた環境を学 ぶ機会の提供	市民環境アカデミー	地球温暖化、省エネ ルギー、身近な自然環境やそ の保全活動等をテーマに、 座学やフィールドワーク、 ワークショップを通じて学ぶ 機会を提供する。	地球温暖化、リサイクル、身近な自然環境やその保全活動などをテーマに、座 学やフィールドワーク、ワークショップを通して学ぶ。 第１回「エネルギーと環境問題」 第２回「地質学と地球温暖化」 第３回「モータースポーツにおけるカーボンニュートラル」 第４回「マシガンズ滝沢さんと考えるごみ問題～清掃員から見た景色」 第５回「生物多様性は大事なの？～植物を求める旅から見たこと」 第６回「海洋汚染の防止と国際社会」 受講者数：４８人	○	受講生は春日井まつりボランティアへの参 画（Ｒ５年度６名）や、愛知県地球温 暖化防止活動推進員としての活動（Ｒ５ 年度末現在春日井市１３名のうち８名が 受講生）など、環境保全活動の実践につ ながっている。	環境政策課
						市民環境フォーラム	環境対策の推進や環境活 動を行っている個人や団体 等を表彰し、環境問題につ いて学ぶ機会を提供する。	市民の環境活動への取り組みを推進し、相互の交流や環境情報の提供を目的 に開催。 日 時：１２月９日（土） 場 所：東部市民センター 参加者：２７０人 内 容：表彰「かすがい環境賞」「環境絵画コンクール市長賞」 基調講演 「マシガンズ滝沢さんと考えるごみ問題～清掃員から見た景色～」 講師：滝沢 秀一	○		環境政策課
						エコライフセミナーの実施	環境情報の提供と環境意 識の高揚を図るため、地球 温暖化や省エネルギーなど 身近な視点から環境問題 を考える講座を実施する。	環境情報の提供と市民の環境意識の高揚を図ることにより、環境まちづくりを推 進するため実施。 講座名：夏休み子どもエコライフセミナー「竹で遊ぼう！ ～水でつぼう作り～」 日 時：８月２日（水） 場 所：文化フォーラム春日井、市民広場 参加者：市内小学生とその保護者１７組４２名 内 容：ゼロカーボンミニ講座、竹の水鉄砲作り、打ち水	○		環境政策課
						カーボンフリー環境 講座	地球温暖化対策に対し、 自ら考え、実践することがで きる次世代の人材育成を 図るため、地球温暖化対 策等を学ぶ体験型講座を 実施する。	小学生とその保護者を対象に、空港資源を活用して航空会社取り組み、地 球温暖化対策を学ぶ体験型講座を実施。 日時：１２月２日（土） 場所：県営名古屋空港ターミナルビル３階会議室・ＦＤＡ格納庫 参加者：３８人	○	㈸フジドリームエアラインズの協力のもと、空 港資源を活用した航空会社が取組む地 球温暖化対策について学ぶ体験型講座を 開催。	環境政策課
						環境に関する講座	環境に関する講座を実施 する。	(１)大学連携講座 実 施 数：１講座（１回） 実施講座：東洋大学連携講座「親子の理科教室～にぼしを解剖して 環境問題について考えよう～」 延受講者数：３０人	○		いきがい推進課
						環境に関する講座	環境に関する講座を実施 する。	(１)ふれあいセンター 実施数：１講座（１回） 実施講座：緑のカーテン育成講座 延受講者数：５人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 5 年度の実績		自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1	社会的 課題に 対応し た学習 機会の 充実	22	環境に関する学 習機会の充実	市民一人ひとりが、 環境問題について 正しい認識を持ち、 環境に配慮した生 活を送れるよう、学 習機会の充実を図 り、環境学習を推進 します。	●座学やフィールド ワーク、ワークショップ 等を通じた環境を学 ぶ機会の提供	環境に関する講座	家庭から出る生ごみを堆肥 化する生ごみ減量講座 （ぼかし作り）や地域の団 体等に対するごみ減量等の 出前講座を開催する。	実施数：2 講座（9 回） 実施講座：生ごみ減量講座、出前講座（ごみの現状や分別方法） 延受講者数：170人	○	公共施設のほか商業施設でも開催。 外国人向け日本語教室と連携し、外国 人住民に対して啓発を行った。	ごみ減量推進課	
						ごみの減量と 4 R の 推進に関する講座	ごみの減量と 4 R の推進を 図るため、生ごみの堆肥化 やごみとして処分される物 品をリメイクして活用する講 座などを開催する。	生ごみの堆肥化講座や、ごみとして処分される物品をリメイクして活用する講座 を開催することにより、ごみの減量化と環境に対する正しい認識を持つ機会を設 けた。 実 施 数：49講座 57回 実施講座：ぼかし作り教室、リメイク教室、包丁の研ぎ方 教室、親子工作教室、自転車修理教室 ほか 延受講者数：743人	○	発火性危険物の常設展示を設けた	クリーンセンター（エ コメッセ春日井）	
						●親子で環境を学 ぶ機会の充実	子ども環境アカデミー	子ども（小学 4 ～ 6 年 生）とその保護者を対象と し、家族ぐるみで地球温暖 化、自然環境保全、循環 型社会等について総合的 、横断的に学習する機会を 提供する。	子ども（小学 4 ～ 6 年生）とその保護者を対象とし、家族ぐるみで環境につい て学び、考えることで環境まちづくりの基盤となる人材の育成を図る。 実施内容：日本のカメと外国のカメ～カメを通じて外来種について知ろう エコパーティーによるこそ～楽しく環境を学んでエコ博士になろう 親子おもしろ実験室～水質調査体験と液体ちっ素を使った 実験～ ほか 延受講者数：20組41名	○		環境政策課
		23	防災・防犯に関 する学習機会の 充実	犯罪や災害等に強い 安全・安心のまち づくりを目指し、市民 の実践力を高めるた めの学習機会の充 実を図ります。また、 交通安全啓発のた めの学習機会を提 供します。	●防災、防犯に関 する講座の実施	安全アカデミー	地域の安全について自ら考 えて行動し、提言できる地 域のリーダーを育成する春 日井安全アカデミーを開催 する。	市民として地域の安全を自分たちで考え、行動し安全で安心して暮らせるまちづ くりを目指し、防災や防犯について学ぶ市民大学を開催した。 生活安全コース：8 講座 防災コース：7 講座 実施期間：7 月 1 日（土）～12 月 2 日（土） 参加者数：75 人（65 人卒業）	○	令和 3 年度から、ポニターの拡充を目指 し、見直しを実施。ポニターになるための資 格要件として、基礎教養課程と専門課程 の最低 2 年受講が必要であったものを、課 程を一つにし、1 年で取得できるようにし た。	市民安全課	
						安全安心フェア	市民への自助力及び共助 力の向上を推進するととも に、防災、防犯及び交通 安全意識の高揚を図るこ とを目的に、安全安心フェア を実施する。	防災・防犯・交通安全の啓発事業を実施することにより、市民への自助力及び 共助力の向上を推進するとともに、防災・防犯・交通安全の意識を図ること及び 災害時応援協定を締結している企業による防災啓発の出展を実施することで、 市と企業との顔の見える関係を構築し、災害時における迅速な応急対策活動 への遂行につなげることを目的とした安全安心フェアを実施した。 日 時：6 月 3 日(土)午前10時～午後 4 時 会 場：文化フォーラム春日井交流アトリウム及び市民ひろば 参加人数：約2,500人	◎		市民安全課	

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1 社会的 課題に 対応した学習 機会の 充実	23 防災・防犯に関 する学習機会の 充実	犯罪や災害等に強い安全・安心のまちづくりを目指し、市民の実践力を高めるための学習機会の充実を図ります。また、交通安全啓発のための学習機会を提供します。	●防災訓練、水防訓練の実施	総合防災訓練	地震災害に対する参加機関との相互協力体制を確立するとともに、市民の防災意識を高めるため、防災訓練を実施する。 日 時：8月27日(日)午前7時～10時40分 会 場：石尾台小学校 参加人数：約1,200人	◎		市民安全課
			●防災訓練、水防訓練の実施	水防訓練	河川の決壊等の水害を想定し、水防技術の向上と水防体制の充実、市民の水防に対する意識を高めるため、水防訓練を実施する。 実 施 日：6月4日(日) 訓練会場：白山小学校(グラウンド) 内 容：水防工法訓練 参加団体：春日井市、春日井市消防団、春日井建設協会、春日井警察署	○		河川排水課
			●交通安全教室の実施	交通安全教室	交通安全意識を向上させ交通マナーを身に付けるため、幼児から高齢者まで、それぞれの発達段階やライフスタイルに合わせた体験・実践型の交通安全教室を実施する。 市内での交通事故減少を目指し、各年齢層に応じて、交通安全の基本となるルール、マナーの指導を行う交通安全教室を開催した。 実施回数 小学校交通安全教室 32回 幼児交通安全教室 30回 高齢者交通安全教室 8回 地域等における交通安全教室 29回 合 計 99回	◎		市民安全課
	24 情報化・国際化 社会に関する学 習機会の充実	日々進化し続ける情報化社会へ対応することができるよう、ICTに関する知識や技術の習得のための学習機会を提供します。	●パソコンやスマートフォン等の操作を学ぶ講座の実施	I C T の活用に関する講座	パソコンやスマートフォンなどの操作方法や活用方法をはじめとしたICTに関する講座を実施する。 (1)公民館 実 施 数：12講座(36回) 実施講座：親子でゲームをつくるプログラミング講座!!、シニアのためのAndroidスマートフォン教室 ほか 受講者数：433人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：7講座(25回) 実施講座：シニアのためのスマホ活用講座、持ち込みパソコン講座 ほか 受講者数：253人 (3)青年の家 実 施 数：1講座(1回) 実施講座：スマートフォンの活用講座～Wi-Fiを使って公共施設の予約をしよう～ 延受講者数：9人	◎		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

56

基本的施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己評価	特記事項	担当・関係課
1	社会的課題に対応した学習機会の充実	24	情報化・国際化社会に対応した学習機会の充実	国際化への意識を高め、豊かな国際感覚を育むことができるような学習機会の充実を図ります。	●外国語の習得に向けた学習機会の充実	外国語講座の実施	多文化共生社会の実現に寄与するため、外国語などの講座を実施する。	(1)公民館 実 施 数：2講座（6回） 実施講座：旅先で役立つ英会話（初級）、外国人のための日本語教室 受講者数：143人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：2講座（9回） 実施講座：映像で巡る世界遺産＋旅行気分英会話、初心者向けチャレンジ英会話 受講者数：131人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
						外国の文化にふれる講座	多文化共生社会の実現に寄与するため、外国文化の紹介や体験講座を実施する。	(1)大学連携講座 実 施 数：1講座（3回） 実施講座：中部大学連携講座「歴史から読み解く中国のいま」 延受講者数：90人	○		いきがい推進課
				●多文化共生に向けた学習機会の充実		外国の文化にふれる講座	多文化共生社会の実現に寄与するため、外国文化の紹介や体験講座を実施する。	(1)公民館 実 施 数：7講座（25回） 実施講座：親子でイングリッシュ、薬膳で課に端！世界の家庭料理ほか 受講者数：143人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：2講座（6回） 実施講座：おやこでいっしょにABC！ 受講者数：138人 (3)青年の家 実施数：1講座（8回） 実施講座：楽しく歌おうビートルズ！ 延受講者数：159人	○		公民館、ふれあいセンター、青年の家、東部市民センター
						わくわく！ふれあいワールド	異文化への理解を深めるとともに、外国人市民と日本人市民との交流を図るため、市内で活動する国際交流団体により設立された春日井市国際交流ネットワークに委託し、「わくわく！ふれあいワールド」を実施する。	実施回数：7回 実施内容：外国の飲み物文化とジュースを味わう、親子でイタリア料理、多文化共生講演会 自転車世界一周した冒険家が語る「夢のかなえ方」など 延参加者数：4,323人	○		多様性社会推進課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 5 年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1	社会的 課題に 対応し た学習 機会の 充実	25	男女共同参画 に関する学習機 会の充実	男女共同参画につ いての理解を深める ための学習機会を 提供します。また、 女性のエンパワーム ント、男性の家庭生 活への参加促進に 向けた学習機会を 提供します。	●男女共同参画セ ミナー、出前講座の 実施	男女共同参画セミ ナー	あらゆる世代の方が生涯を 通じて男女共同参画の視 点を持ち、能力を開発、発 揮し、社会のあらゆる分野 へ参画していくために必要 な能力を高めることができ よう講座の開催など学習機 会を提供する。	(1)一般市民向け講座 実 施 数：7 講座 実施内容：えがお先生のババ写真セミナー、理工系のお仕事体験セ ミナー、雅楽の魅力を知ろう、出前講座（春日井高等学校 全日制、春日井工科高等学校、市内子どもの家）、かす がい女性連盟総会での講演 延受講者数：573人 (2)職員・学校向け講座 実 施 数：2講座 実施内容：LGBTQの理解、ジェンダーに関するアンコンシャス・バイア スについて 延受講者数：55人	◎	昨年度よりも多くの講座を開催することがで きた。	多様性社会推進課
						男女共同参画市民 フォーラム	男女共同参画社会の実現 を目指した意識啓発を目 的に、市民、社会活動団 体、企業、市がともに考える 機会として、市民フォーラム を開催する。	「男女共同参画」について、多くの市民に知ってもらうため、男女共同参画市民 フォーラムを開催した。 開 催 日：11月26日（日） 参加人数：500人 内 容：講演会、パネルディスカッション、男女共同参画フォトコンテス ト作品展示	◎	市制80周年記念事業として、規模を拡 大して開催することができた。	多様性社会推進課
					●女性のキャリアアッ プや男性の家事、育 児、介護能力向上 のための講座の開催	各種講座の実施	女性のキャリア形成や管理 職に就くまでのイメージの構 築、本市で起業を希望する 女性起業家の経営安定と 質の向上を図るためのセミ ナー等を開催する。また、男 性が主体的に育児に参加 できるよう、セミナーを開催 する。	【女性向け】 実施数：4 講座 実施内容：女性のためのキャリアアップ講座、女性のための起業応援 セミナー、起業応援セミナーフォローアップ会、テレワーク入 門セミナー 延受講者数：239人 【男性の育児力向上】 男性が主体的に育児に参加できるよう、セミナーを開催した。 実施数：1 講座 実施内容：えがお先生のババ写真セミナー 受講者数：8 人	○		多様性社会推進課
						各種講座の実施	男性が主体的に家事や育 児に参加できるよう男性向 けの講座を実施する。	(1)公民館 実 施 数：9講座（12回） 実施講座：ウィークエンド男子ごはん、おやじの料理講座 受講者数：166人 (2)ふれあいセンター 実 施 数：1 講座（1 回） 実施講座：ホテルブラザ勝川男の料理塾 受講者数：6人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
					●ワーク・ライフ・バラ ンスの推進に向けた 講座の実施	ワーク・ライフ・バラ ンスの推進	ワーク・ライフ・バランスを推 進するため、男女共同参画 情報紙「はるか」による啓発 のほか、事業者等に対する 出張講座を行う。	男女共同参画情報紙「はるか」で多様な働き方について啓発するとともに、事業 者に対し出前講座を実施した。 実施数：1 講座 実施内容：働き方改革について 受講者数：42人	○		多様性社会推進課

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名		事業概要		令和5年度の実績		自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
2	地域の 担い手と なる人 材の発 掘及び 育成	26	指導者となりうる 人材の育成	地域のリーダーとして 活躍できる人材を養成するとともに、生涯 学習のニーズに対応 できる潜在的な資 質や活動意欲のある人材の発掘を推 進します。	●人材を育成する ための講座の実施	安全・安心まちづくり ポニター養成講座	地域の安全についてリー ダー的役割を担うポニターを 養成するため、安全アカデ ミーを卒業した人を対象に 養成講座を実施する。	安全アカデミーを卒業した人を対象として養成講座を開講した。 開催期間：1月25日（木）・26日（金） 実施内容：普通救命講習、防犯講話、避難所運営ゲーム（HUG）	○	安全アカデミー卒業者のうち、養成講座受 講者13名が安全・安心まちづくりポニターと して新たに委嘱を受けた。	市民安全課			
						ヘルスメイト養成講 座	地域において、食を通した 健康づくり活動を自主的に 行う食生活改善推進員 （ヘルスメイト）を養成する 講座を実施する。	食生活改善推進員（ヘルスメイト）を養成する講座を実施した。 実施回数：8回 養成人数：14人	○		健康増進課			
						認知症サポーター養 成講座	認知症に関する正しい知 識の普及や認知症高齢者 等を介護する家族等の支 援を図るため、認知症サ ポーター養成講座を開催す る。	実施回数：34回 要請人数：1,021人	○		地域共生推進課			
						野外活動・自然体 験指導者講座	野外での体験活動、自然 に親しむ活動、遊びなど 様々な分野で十分な指導 ができるよう講習会を開催 する。	野外活動・自然体験指導者講座（4回） 延受講者数55人	○		野外教育センター			
						●生涯学習情報サ イトへの登録促進	まなびや選科（サイ ト）への講師登録	自分の知識や技能を他者 に教えたい人と学びたい人 を結びつけるため、講師を 希望する人をサイトに登録 することを促進する。	講師登録件数： 323人（うち新規登録27人） アクセス件数：40,529件（前年度31,107件）	○		いきがい推進課		
		27	ボランティアの育 成	ボランティア団体の活 動を広く周知するとと もに、ボランティアとし て活躍する人材の 育成を図ります。	●市民活動団体に 関する情報の発信	情報紙「ささえ愛」	市民活動の情報を提供す るため、市内で活躍してい る市民活動団体の紹介や 団体が実施するイベント情 報を掲載した情報紙を発 行する。	市内の市民活動の情報と市民活動支援センターのPRを目的とした情報紙「さ さえ愛」を発行した。 発行部数：2,000部 発行回数：4回 情報紙配布先：市内公共施設、市内小中学校、市内高等学校、 中部大学、春日井市社会福祉協議会、愛知県、 他市市民活動支援センター、春日井郵便局、大 垣共立銀行春日井支店 ほか	○	市内で活躍する市民活動団体の紹介や 団体が実施するイベント情報を掲載した情 報を周知できた。	市民活動支援セン ター			
					●ボランティアを養成 するための講座や教 室等の開催	健康マイスター養成 講座	健康に関する正しい知識を 持つ「健康マイスター」の養 成講座を開催し、修了者 のうち、希望者はボランティ アとして、市などが実施する 健康づくり事業に参加す る。	実施期間：9月6日（水）～11月15日（水） 会 場：総合保健医療センター、保健センター 養成人数：5人 講 座 数：10講座 内 容：市の健康事情（講話）、健康マイスターボランティアの活動 について（講話）、ウォーキングについて、準備運動と整理 運動、安全管理・救命講習、認知症予防運動 ほか	△		健康増進課			

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己評価	特記事項	担当・関係課
2	地域の担い手となる人材の発掘及び育成	27	ボランティアの育成	ボランティア団体の活動を広く周知するとともに、ボランティアとして活躍する人材の育成を図ります。	●ボランティアを養成するための講座や教室等の開催	文化財ボランティアの養成	貴重な文化財や歴史及び伝統文化を次世代に伝え、文化財保護を啓発するため、文化財ボランティアを育成する。	(1)ボランティアの資質向上のため、ステップアップ研修を実施した。 実施回数：4回 実施研修内容：「春日井市西山地区の古代製鉄遺跡について」ほか 延受講者数：71人 (2)ボランティア活動の内容や魅力を伝え、幅広い活動が実現できるよう会員数の増加を図るため、養成講座を実施した。 実施回数：4講座2回 実施講座内容：春日井の歴史と文化財について、ボランティアの会の活動と魅力、下街道を歩く、二子山古墳見学 延受講者数：8人 令和5年度末会員数:31人	○	養成講座の実施により新規会員が7人加入。	文化財課
						各種ボランティアの養成	手話、点訳など市内ボランティアの養成を行う。	実施数：5講座 実施講座：手話奉仕員養成講座（入門課程、基礎課程）、点訳奉仕員養成講座、読み書き（代読・代筆）情報支援員養成講座、聞こえのボランティア入門講座 延受講者数：813人	○	「手話奉仕員養成講座」では多くの参加があり、次の基礎課程への継続意欲もみられた。	社会福祉協議会等
						人材育成セミナー	ボランティアや市民活動で活躍する人材を育成するため、人材育成セミナーを実施する。	(1)市民ニーズに合った講座を開催し、市民活動を担う人材を育成した。 ・青少年ボランティアスクール 受講者 延べ142人 ・オトナのボランティアスクール 受講者 延べ26人 (2)市民交流会議企画の市民活動団体のニーズに合った講座を開催した。 ・市民交流会議企画セミナー 開催数 3回（11月、1月、3月） 受講者 第1回 14人（10団体） 受講者 第2回 14人（8団体） 受講者 第3回 23人（17団体） ・かすがい市民活動情報サイトサポート 利用者39人	○	ニーズに合ったセミナーを実施するなど、団体の円滑な活動を支援。	市民活動支援センター
						図書館読み聞かせボランティア養成講座	読み聞かせボランティアの必要な知識や心構え、読み聞かせの技術等を習得する養成講座を実施する。	図書館等において読み聞かせ事業を推進するため、読み聞かせボランティアの希望者を募り、必要な知識や心構え、読み聞かせの技術等を習得する養成講座を実施した。 実施回数：1回（3日間） 延受講者数7人	○	受講者のうち4名が既存のボランティアグループに加入。	図書館
						グルッポふじとうにおける地域住民サポーター事業	高蔵寺まなびと交流センターにおいて「地域住民サポーター」を募集し、地域住民との積極的な協働による施設運営を目指す。	地域住民サポーター登録数：140人 活動内容：花壇の手入れ ・水やり、草刈り ・花の植え替え（花壇コンクール（春日井市主催）に出場） 育児保育のサポート活動 ・児童館での育児保育事業のサポート活動	○	地域住民の繋がり場の場となり住民協働による施設運営につながっている。	ニュータウン創生課

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

60

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課	
3	学習成 果を生 かしたま ちづくり の推進	28	学びの成果を発 表する機会の提 供	市民が学んだ成果 を発表することで新 たな学びにつなげ、 市民同士の交流が 図れるよう、日頃の 活動成果を発表す る機会を提供しま す。	●公民館まつりを活 用した発表機会の 確保	公民館まつり	公民館で活動する団体が 日頃の活動の成果を発表 及び展示する機会として開 催する。	(1)中央公民館 発表会：2月25日（日） 団体数：8団体 作品展：3月1日（金）～13日（水） 団体数：12団体 (2)知多公民館 発表会：2月25日（日） 団体数：6団体 作品展：2月29日（木）～3月6日（水） 団体数：9団体 (3)鷹来公民館 発表会：3月24日（日） 団体数：7団体 作品展：3月26日（火）～29日（金） 団体数：11団体 (4)坂下公民館 発表会：2月18日（日） 団体数：9団体 作品展：2月21日（水）～25日（日） 団体数：15団体 (5)東部公民館 発表会：6月10日（土） 団体数：14団体 作品展：6月10日（土）・11日（日） 団体数：11団体	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター	
						芸能発表会	ふれあいセンターで活動する 団体が日頃の活動の成果 を発表及び展示する機会と して開催する。	(1)南部ふれあいセンター 発表会：10月8日（日） 団体数：7団体 作品展：10月1日（日）～11月25日（土） 団体数：12団体 (2)西部ふれあいセンター 発表会：10月8日（日） 団体数： 作品展：10月8日（日）～10月14日（土） 団体数：29団体	○		ふれあいセンター	
						レディアン祭	レディアンかすがいを活動拠 点としている利用団体が団 体活動の発表を通して交 流と親睦を図るとともに、男 女共同参画と青少年活動 等を広く市民に啓発するた め、レディアン祭を開催す る。	・活動団体による発表 8団体 ・活動団体による体験教室 12団体 ・団体PRコーナー出展団体 4団体 ・展示コーナー出展団体 2団体 ・運営協力団体 3団体 ・来場者数 530人	○	レディアン祭実行委員会で内容を検討して いる。	多様性社会推進課	
						ハーモニーフェスティ バル	ハーモニー春日井の利用団 体が、楽器演奏などの練習 成果の発表を通じて団体 相互の親睦と地域住民等 との交流を図るため、フェ スティバルを開催する。	第22回ハーモニーフェスティバル 期 日：11月19日（日） 出演団体：11団体（個人出演含む）	○		青年の家	
						●作品展や発表会 などの開催	展示コーナーでの成 果発表	公民館等の展示コーナーを 貸し出し、個人やグルー プの作品展示を行う。	(1)公民館 展示回数：73回 作 品 数：2,830点 (2)ふれあいセンター 展示回数：57回 作 品 数：2,646点	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						●生涯学習情報サ イト登録講師の市 民講座等への登用	登録講師の市民講 座等への登用	公民館等で実施する講座 に生涯学習情報サイトに登 録されている講師などを積 極的に登用する。	講師新規採用数：8人 情報サイト登録者：14人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター

基本目標Ⅲ 学んだ成果を生かしたまちづくり

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
3	学習成 果を生 かしたま ちづくり の推進	29	市民自らが企画 した講座の開催	市民が学習で得た 知識や技術を広く生 かせるよう、「学ぶ」だ けでなく、「教える」 楽しみや生きがい を感じることができる場 をつくり、市民が主体 となった生涯学習の 推進を図ります。	●市民が講師として 活躍する場の提供	講師発掘・登用事 業	さまざまな知識や技術を 持った市民を募集し、応募 者自らが企画した講座の講 師として活躍する場を提供 する。また、登用した講師を 市主催講座で積極的に活 用する。	応募件数：22件 採用件数：16件 実 施 数：12講座（うちオンライン講座1講座） 実施講座：だれでもできる自然治癒力を活性化する健康法、今日から あなたも会話美人 ほか 延受講者数：186人	○		いきがい推進課
						出前公民館講座	市民の身近な場所での学 習機会の充実を図るため、 講師発掘・登用事業で採 用した講師経験者等を講 師として、地域の集会施設 で講座を開催する。	実 施 数：34講座 申請団体：地区社会福祉協議会、子ども会 ほか 実施講座：脳活性化は笑顔で楽しいゲームで！、リズム体操とフレイル 予防体操、“アニにち”アニソン×日本舞踊、ほか 延受講者数：844人	◎		いきがい推進課
					●生涯学習活動団 体が講師を務める 講座の実施	市民のためのチャレ ンジ講座等	施設を利用している生涯学 習活動団体による講座を 実施します。	(1)公民館 実 施 数：4講座（13回） 実施講座：ヨーガで心と体をリフレッシュ、絵手紙で年賀状を描いて みよう！、初級マジック講座、子ども茶道教室 延受講者数：77人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
		30	住民主体による 生活課題の解 決に向けた学習 の支援	住民自らが地域の 担い手として地域課 題の解決に取り組む ことができるよう、住 民主体の学習に対 する支援を行いま す。	●生涯学習出前講 座による支援	出前公民館講座	市民の身近な場所での学 習機会の充実を図るため、 講師発掘・登用事業で採 用した講師経験者等を講 師として、地域の集会施設 で講座を開催する。	実 施 数：34講座 申請団体：地区社会福祉協議会、子ども会 ほか 実施講座：脳活性化は笑顔で楽しいゲームで！、リズム体操とフレイル 予防体操 ほか 延受講者数：844人	◎		いきがい推進課
●地域課題解決に 向けた取組に対する 費用の助成	生涯学習まちづくり 出前講座				市民等により構成される団 体の依頼に応じ、市職員を 地域の集会施設等に派遣 し、行政情報や施策に関す る講座を実施する。	実 施 数：11講座 申請団体：地区社会福祉協議会 ほか 実施講座：高齢者、障がい者などの災害時の避難支援制度について、 介護保険のしくみについて、マイナンバーカードについて ほか 延受講者数：310人	○		いきがい推進課		

基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり

62

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和 5 年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1	身近な 生涯学 習施設 の充実	31	市民が利用しや すい、利用したく なる施設運営	市民にとって使いや すい施設の運営を 推進します。また、 施設に関する情報 発信を行い、施設の 利用促進を図りま す。	●利用者ニーズに 基づいた改善や管 理運営方法の改善	施設予約に関する 利便性の向上	市民にとって利用しやすい 施設運営を推進するため、 予約方法などの利便性の 向上を図る。	令和⑤年4月以降、施設利用の3日前までに利用申請を行うこととしていたものを利用日当日までに行うことに変更した。 利用予約申込みの方法に口頭による予約を加えた。 生涯学習活動団体の活動しやすくなるよう、一般の予約より優先して、3月前から予約できるよう変更した。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						Wi-Fi環境整備	施設利用者の利便性を高 めるため、施設の機能向上 を図る。	利用者の利便性を図るため、公民館、ふれあいセンター等の各1室にWi-Fi環境を整備した。（令和3年度実施） 令和5年度は、新たに青年の家にWi-Fi環境を整備した。 設置施設：公民館（中央、知多、鷹来、坂下） ふれあいセンター（味美、高蔵寺、南部、西部） 青年の家、レディヤンかすがい	◎		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						社会教育事業連絡 調整会議	各公民館、ふれあいセ ンター等の機能の充実を目指 し、各施設における課題等 を共有し、課題解決のため の協議を行う。	各公民館、各ふれあいセンターの機能を充実させ、施設間の情報共有を図るため、社会教育事業連絡調整会議を実施した。 実 施 数：12回	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						●交流スペースの設 置	交流スペースの設置	幅広い年代の方が気軽に 立ち寄りやすい施設とるよう、 交流スペースを設置する。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
						●施設の魅力に関 する情報発信	施設利用に関する 情報発信	施設の利用を促進するた め、各施設の情報を発信 する。	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
		32	施設の有効活 用	市民や団体が学習 活動を行う場をより 多く提供するため、 既存施設の有効活 用の促進を図りま す。	●学校体育施設の 開放	学校体育施設の開放	市民の健康増進や体力の 向上を図るため、スポーツ 活動の場として市内の小中 学校体育館、中学校武道 場及び県立学校体育施設 を学校教育に支障のない 範囲で開放する。	(1)県立学校体育施設開放 開 放 校：県立春日井高等学校 始め8校の校庭 利用者数：1,607人 (2)小中学校体育施設開放 開放校数：小中学校52校の体育館及び中学校15校の武道場 利用者数：292,956人	○		文化スポーツ振興課
					●小学校余裕教室 の開放	松原学習センター	地域住民の生涯学習活動 やコミュニティ活動の推進を 図るため、松原小学校の余 裕教室を活用し、施設の 貸館や生涯学習指導員に よる講座を実施する。	小学校の空き教室を整備し、松原中学校区の住民を対象に講座を実施した。 登録団体：4団体 利用件数：130件 利用者数：1,968人 講 座 数：22講座（80回） 実施講座：脳トレ!!なんでもチャレンジ、アナログレコードを楽しもう、 初めての凹版画（ドライポイント）ほか 延受講者数：852人	△		いきがい推進課

基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり

基本的 施策	取組み	主な内容	事業名	事業概要	令和５年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
1 身近な 生涯学 習施設 の充実	32 施設の有効活 用	市民や団体が学習 活動を行う場をより 多く提供するため、 既存施設の有効活 用の促進を図りま す。	●小学校の余裕教 室の開放	小学校余裕教室の 開放	市民の生涯学習活動の推 進とコミュニティの育成に寄 与するため、白山小学校、 牛山小学校、石尾台小学 校の余裕教室を地域の団 体に開放する。	登録団体数：白山小学校：なし 牛山小学校：なし 石尾台小学校：2団体	△	いきがい推進課
			●予約が入っていな い集会室等の有効 活用	スタディールーム	公民館、ふれあいセンター 等の空き室を有効活用し、 学習室として開放すること で中高生の自主学習を支援 する。	実施施設：中央公民館、知多公民館、鷹来公民館、坂下公民館、 味美ふれあいセンター、高蔵寺ふれあいセンター、南部ふれあ いセンター、西部ふれあいセンター、東部市民センター、レディ ヤンかすがい 利用可能日：学校の長期休業期間及び土曜日、日曜日、祝日 午前9時から午後5時まで 利用できる人：市内在住、在学の中学生、高校生 利用人数：7,936人	○	いきがい推進課
	33 施設の適切な 維持管理	施設の計画的な点 検はもとより、不具 合に対する早期対 応や修繕を行い、必 要に応じた設備、機 器の更新などによる 利用環境の充実や 機能の向上、安全 で快適な施設環境 の充実に努めます。	●市公共施設等マ ネジメント計画に基 づく計画的な改修・ 修繕	計画的な修繕	施設の定期的な点検を行 い、劣化状況等を把握する とともに、施設保全計画に 基づき、計画的な修繕を実 施する。	施設マネジメント計画に基づき、計画的に施設の改修、修繕を行う。 (1)鷹来公民館大規模改修工事実施設計 (2)東部市民センター電話設備改修工事 (3)南部ふれあいセンター給水ユニット取替工事 (4)公民館等多目的トイレベビーチェア設置工事 (5)道風記念館展示ケースLED照明器具更新工事 (6)少年自然の家宿泊棟空調設備更新工事 ほか	○	公民館、ふれあいセ ンター、東部市民セ ンター、青年の家、 道風記念館、多様 性社会推進課、野 外教育センター（社 会教育施設）
				計画的な修繕	施設の定期的な点検を行 い、劣化状況等を把握する とともに、施設保全計画に 基づき、計画的な修繕を実 施する。	施設マネジメント計画に基づき、計画的に施設の改修、修繕を行う。 (1)総合体育館：更衣室シャワー修繕 (2)温水プール：ファンコイルユニット更新修繕 (3)市民球場：観覧席ベンチシート取替修繕 (4)落合公園体育館：給水管漏水修繕 ほか	○	文化スポーツ振興課 （社会体育施設）
2 関係機 関との ネット ワークの 構築	34 地域の大学や 事業者との連携	大学や民間事業 者、NPO等の専門 的な知識を有する 人材をはじめとする 豊富な学習資源を 活用し、大学や事 業者等と地域が連 携した生涯学習の 場づくりを目指し ます。	●大学や民間事業 者等との連携による 講座の開催	大学連携講座の開 催	市民の多様化する学習 ニーズに応えるため、大学が 持つ優れた人材と設備を活 用し、高度な内容の講座を 実施する。	近隣の大学と連携し講座を実施した。 連携大学：中部大学、名城大学、椋山女学園大学、名古屋学芸大 学、東洋大学 実 施 数：18講座 実施講座：クラシック音楽史、生活に生かすカラーコーディネート、 子どものこころからだを育む～家庭教育オンライン講座、 親子の理科教室～にほしを解剖して環境問題について考 えよう ほか 実施方法：対面講座 13講座、対面・オンライン併用講座 3講座 オンライン配信講座 2講座	◎	いきがい推進課

基本目標Ⅳ 学びを豊かにする環境づくり

64

基本的 施策		取組み		主な内容		事業名	事業概要	令和5年度の実績	自己 評価	特記事項	担当・ 関係課
2	関係機 関との ネット ワークの 構築	34	地域の大学や 事業者との連携	大学や民間事業 者、NPO等の専門 的な知識を有する 人材をはじめとする 豊富な学習資源を 活用し、大学や事 業者等と地域が連 携した生涯学習の 場づくりを目指し ます。	●大学や民間事業 者等との連携による 講座の開催	民間団体・事業者 との連携	民間団体や企業が持つ知 識やノウハウを活用するた め、講座への講師として派 遣を要請するなど連携を図 る。	NPO法人と連携し、文部科学省の「学校卒業後における障害者の学びの支援 に関する実践研究」事業の採択を受け、障がい者の生涯学習について研究を 行った。 事業名：春日井市における民間団体との連携協働による障害者生涯学習プ ログラムの開発 連携協議会：会議4回、出席委員等（延べ）54人 障がい者の生涯学習実践研究講座（7回、延べ151人 障がい者を対象とした体験講座：3講座、延べ106人 視察研修：視察先1施設、参加者5人 コンファレンス：出席者82人（うちオンライン参加19人）	○		いきがい推進課
						民間団体・事業者 との連携	民間団体や企業が持つ知 識やノウハウを活用するた め、講座への講師として派 遣を要請するなど連携を図 る。	(1)公民館 実施数：29講座（94回） 実施講座：はじめてのバドミントン、季節を感じる家庭料理、はじめての 資産形成～シン・ニーサを活用しよう、シニアのための持ち込 みパソコン教室 連 携 先：春日井市食生活改善協議会、春日井市バドミントン連盟、 日本証券業協会、けやきネットの会 ほか 延受講者数：1,789人 (2)ふれあいセンター 実施数：35講座（121回） 実施講座：らくちん筋力アップ体操、夏休みこども劇場、ホテルプラザ勝 川シェフの料理教室 ほか 連 携 先：あい・愛マインド、グループゆう、ホテルプラザ勝川 ほか 延受講者数：1,120人	○		公民館、ふれあいセ ンター、青年の家、 東部市民センター
					●講座実施に向け た連携・協力体制の 構築	大学等との連携・協 力体制の構築	市と連携協定を結んでいる 企業、大学等との生涯学 習分野における協力体制 を強化する。	検討中	△	さらなる学びの場となるよう、中部大学等と 連携した事業展開について検討を進める。	いきがい推進課
		35	近隣自治体との 連携強化	市民へより多くの学 習情報の提供や学 習機会を拡充するた め、近隣自治体との 連携を図ります。	●近隣自治体の情 報や人材の相互利 用による生涯学習の 推進（愛日社会教 育担当者連絡会へ の参加）	愛日社会教育担当 者連絡会	近隣市町との連携や情報 共有を図るため、小牧市や 瀬戸市を始め11市町で構 成された愛日社会教育担 当者連絡会に参加する。	愛日社会教育担当者連絡会に参加し、情報交換を行った。 5月8日（月）：名古屋市三の丸庁舎 8月24日（木）：研修会（春日井市） 1月30日（火）：研修会（豊山町）	○		いきがい推進課